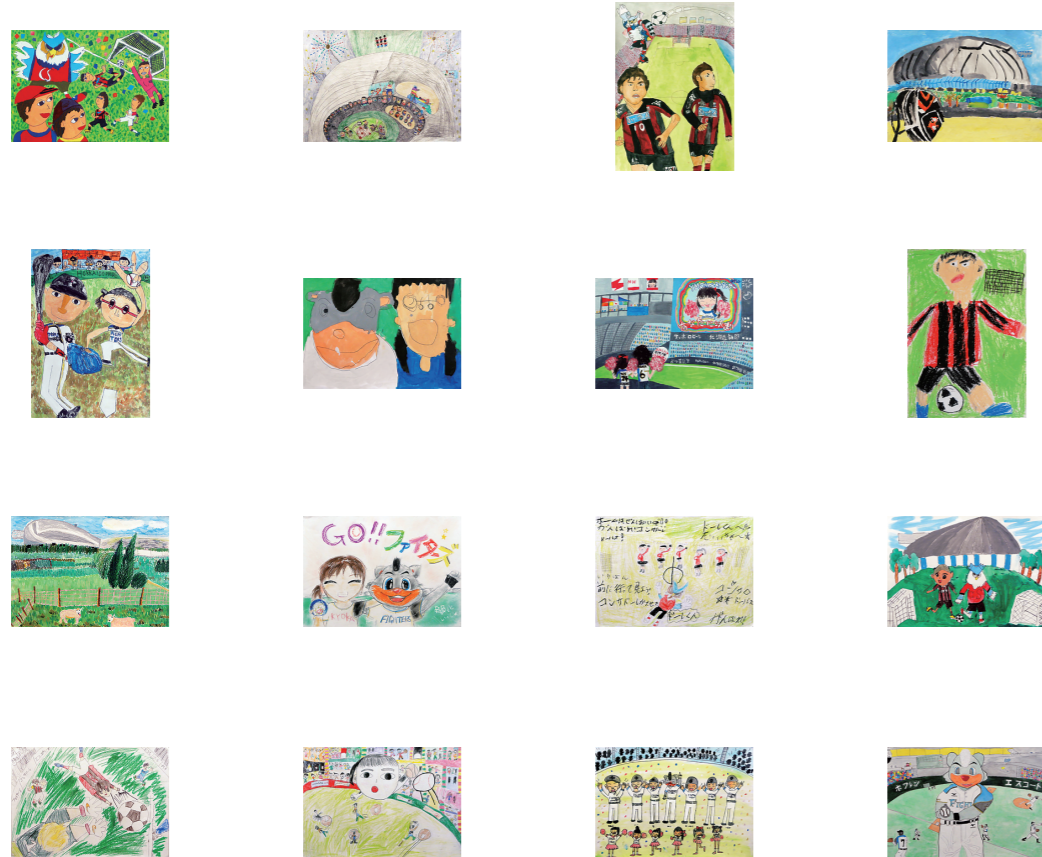


札幌ドーム
CSRレポート 2013
SAPPORO DOME Co.,Ltd. CSR REPORT



「第2回 札幌ドームこども絵画展2012」入賞作品 (入選は除く)

札幌ドームの「社会と環境への取り組み」についての最新情報は
下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

札幌ドームウェブサイトに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートを
ご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

株式会社 **札幌ドーム**

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL011-850-1000(代) FAX011-850-1011
発行:2013年6月 ※2013年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。



インクは植物油インクを
使用しています。



CARBON OFFSET

この報告書は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、
CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しております。





お読みいただく皆さまへ [編集方針]

株式会社札幌ドームは、2008年に初めて、「環境への取り組み」を中心とした年次報告書を発行いたしました。札幌ドーム開業10周年を迎えました一昨年の2011年からは、「CSRレポート」として当社の取り組みについてご報告させていただいております。本年につきましても、当社にとってのすべてのお客さま(=ステークホルダー)に、CSRに対する当社の考え方や事業活動をご理解いただく重要なコミュニケーションツールとして「札幌ドームCSRレポート2013」を発行いたします。

本レポートをお読みいただく皆さまに、できるだけわかりやすくお伝えするため、図表や写真を多く用いるとともに、親しみを持っていただけるよう札幌の街並みや札幌ドームを訪れてくださる皆さまのイラストをレイアウトいたしました。CSRレポートとしての内容は、まだまだ不足している点もありますが、本レポートの発行を今後の更なるCSRの推進につなげていきたいと考えておりますので、皆さまからの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

株式会社 **札幌ドーム**



CONTENTS [目次]

TOPメッセージ 3

札幌ドームのCSR 5

巻頭TOPIC

「オンラインリサーチ」を実施いたしました 7

人工芝の全面更新を実施いたしました 9

すべてのお客さまのために

●すべてのお客さまの安全と安心のために 11

●最高の舞台であるために 15

●より楽しく、より快適にご利用いただくために 19

●お客さまの声をかたちに 23

地域社会とともに

●地域とともに成長するために 25

公正に事業を推進するために

●信頼される企業であるために 29

社員とともに

●誇りに思える職場であるために 31

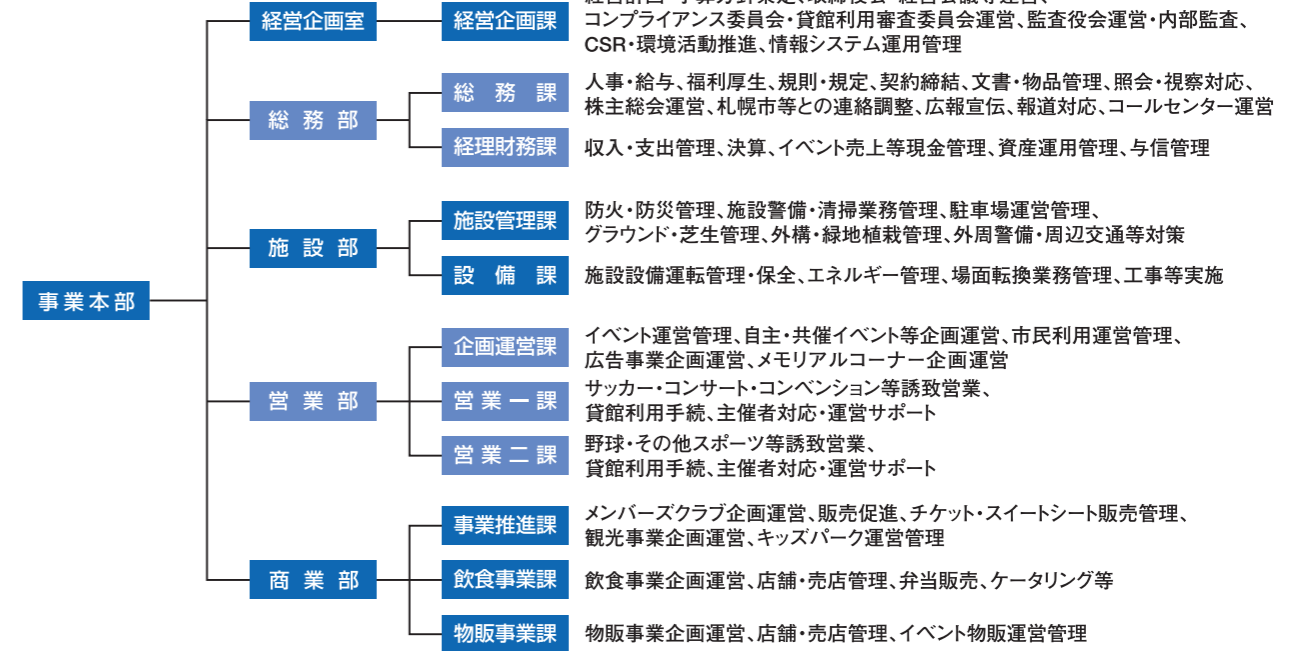
環境にやさしい施設を目指して

●環境にやさしい施設であるために 33

資料 41



●組織図および事務分掌



●私たちの事業活動

- 施設設備の維持管理
施設設備の適切な維持管理を行うとともに、必要な施設改良等の工事を行っています。
- 貸館事業
アリーナ等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポートを行っています。
- 広告事業
ドーム内の広告看板等の販売管理を行っています。
- 駐車場・チケット事業
ドーム駐車場の管理運営やイベントチケットの販売管理を行っています。
- 飲食・物販事業
ドーム内のレストランや売店など飲食・物販の管理運営を行っています。
- 観光・市民利用事業
ドーム展望台・見学ツアーの運営や草野球等の一般市民利用管理を行っています。
- 市民還元・社会貢献
招待事業や自主イベント開催等を通じて、市民還元・社会貢献に努めています。
- 環境への取り組み
環境にやさしい施設を目指して、よりよい環境づくりに取り組んでいます。

報告対象期間

本レポートでの報告は、2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについてもご紹介しています。

ウェブサイトの掲載

本レポートは、ウェブサイト上におきましても閲覧いただけるようPDFを掲載しています。また、札幌ドームウェブサイトに、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

発行時期

- 2008年より年次報告として毎年発行しています。
- ・2008年6月 札幌ドームECO MOTION ひとりひとりがエコプレイヤー
- ・2009年6月 環境報告書
- ・2010年6月 社会・環境報告書
- ・2011年6月 CSRレポート2011
- ・2012年6月 CSRレポート2012
- ・2013年6月 CSRレポート2013

より多くのお客さまに、喜びを感じ、感動を得ていただくために

本年1月、札幌ドームは2001年の開業以来の累計来場者数3,000万人を達成することができました。これを記念し、開業から13年間にわたり、札幌ドームをホームスタジアムとしてご利用いただいておりますコンサドーレ札幌さまと2004年の北海道移転から10年目を迎えました北海道日本ハムファイターズさま、そして、札幌ドームへ足を運んでいただきました多くの市民道民の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、札幌ドームの玄関といえる北ゲート側のタウンに「感謝の森」を造りました。この「感謝の森」には、毎年6月から7月にかけて、空に向かって綺麗な花を咲かせる紅白のヤマボウシ数十本を植樹しており、訪れる皆さまにぜひ楽しんでいただければと思っています。

振り返りますと、2012年は、北海道日本ハムファイターズの3年ぶりリーグ優勝による「クライマックスシリーズ」や「日本シリーズ」の開催に加え、サッカー日本代表戦のほか、プロ野球日本代表による「侍ジャパンマッチ」が初めて開催されました。また、コンサートにつきましては、札幌ドーム初開催となった「K-POPコンサート」や「安室奈美恵ドームツアー」を含め過去最高の10日間の開催となりました。その結果、最高稼働率となった前期に次ぐ開業以来2番目に高い稼働率となり、年間の総来場者数は287万人となりました。ここに改めて、ご利用いただきました主催者さまとご来場いただきました皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

私たちの使命は、市民道民の皆さまの財産であります札幌ドームにおいて常に魅力あるイベントを開催し、より多くのお客さまにご来場いただき、喜びを感じ、感動を得ていただくことにあります。

そのためには、施設設備を適切に管理し、安全安心な環境を提供することが最大の責務となります。また、経年劣化に伴う大規模な修繕や設備更新という大きな課題もあります。2012年は、私どもの費用負担により、開業以来2回目となった人工芝の更新やトイレ洋式化を進めたほか、ご要望の多かった外野客席の階段手すりの設置といった施設改良などを行いました。

多くのお客さまにご来場いただくためには、ただ単に施設設備を維持更新するのではなく、お客さまにとってより快適に楽しんでいただくための施設改良あるいは設備更新を行い、より満足していただけるサービスを提供していく必要があります。このことがまさしく私たちにとってのCSRであり、経営そのものであると考えています。

今後とも、市民道民の皆さまをはじめとするすべてのお客さまの声をしっかりと聞きし、更なるご期待に応えられるよう社員一同総力を結集して邁進してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長沼 修

[開業20周年に向けて、ありがたい姿]

長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」

新たな価値と感動を創造し続ける企業へ

社員一人ひとりが成長し続けることで、お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続け、市民道民の皆さまに喜ばれ、地域社会から信頼される企業を目指す

2021年、開業20周年へ

長期ビジョン「SV-21」の実現に向けて、さらなるホスピタリティの向上へ

札幌ドームは、開業から本年度で13年目を迎えました。これもひとえに多くの皆さまのお力添えの賜物であると心より御礼申し上げます。

早いもので一昨年の開業10周年から2年が経過いたしました。私たちはすでに開業20周年に向けたスタートを切っておりますが、本年3月、2021年を目標年度とする長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」を策定いたしました。

この「SV-21」では、キーコンセプトとして“新たな価値と感動を創造し続ける企業へ”を掲げるとともに、経営目標の一つとして“売上高40億円超”を目指しています。このような具体的な数値目標を設定するのは今回が初めてとなります。現状では、この40億円という数字は非常に高い目標ではありますが、市民道民の皆さまの財産であります札幌ドームをしっかりと未来に繋いでいくためには、一層の売上向上と安定利益の確保が必要であることを対外的にも明確化し、全社員の目指すべき姿としました。

そして、その実現のためには、社員一人ひとりの成長が不可欠であり、お客さまが喜びと感動を得ることを通して、地域社会から信頼される企業であり続けなければならないことを改めて社員の共通認識としました。

この考え方こそが当社のCSR経営の根本となりますが、その推進にあたっては、やはり経営理念にある「ホスピタリティ」の心が大切であると考えています。お客さまに対する思いやり、心遣い、親切心があっただけで、お客さまの満足度を高め、信頼関係が生まれるのだと思います。

札幌ドームは、これまで多くの皆さまに支えられてまいりました。2021年の開業20周年に向けて、今後さらなるホスピタリティの向上を目指し、すべてのお客さまにとって最高のドームであり続けられるよう邁進してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役専務

島津 貴昭



私たちはエンターテインメントビジネスを通して、 常に最高のホスピタリティを追求し、 すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します

エンターテインメントビジネス: すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
ホスピタリティ: 思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人との心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
ステージ: 空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

[行動指針] Guiding Principles

— すべてはお客さまのために —

1. お客さまと想いを一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
2. お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでいただける環境をつくります
3. お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
4. 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
5. 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
6. 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
7. 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
8. 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
9. 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
10. 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

私たちにとってのCSR

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立した第3セクターでありますことから、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第1の使命であります。したがって、当社の事業活動の成果は広く市民や地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。

2013年3月、これまで3項目であった当社行動指針を「SV-21」実現に向けた新たな指針とすべく10項目からなる行動指針に改定しました。当初は、ISO26000における7つの中核課題や日本経団連「企業行動憲章」を参考に、「CSR基本方針」として定める予定でしたが、議論を進めるなかで当社にとってCSRを推進することこそが経営

理念の実現に繋がっていくことを改めて認識し、そのための具体的な行動指針として社内外に宣言することとしました。

私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけではなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

— 札幌ドーム条例 第1条 —

本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

私たちにとってのすべてのお客さま

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、
観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、
観光で訪れる皆さま、
札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、
札幌ドームのある街に暮らす皆さま、

そのすべての皆さまが、
私たちにとって大切なお客さまです

すべてのお客さま(=ステークホルダー)と
CSRへの取り組み課題のイメージ



CSRへの取り組み課題と「中期経営計画2015」における重点施策

当社は、CSR経営を推進するため、行動指針に基づき、「すべてのお客さまの安全と安心のために」「最高の舞台であるために」「より楽しく、より快適にご利用いただくために」「お客さまの声をかたに」「地域とともに成長するために」「信頼される企業であるために」「誇りに

思える職場であるために」「環境にやさしい施設であるために」という8つのCSRへの取り組み課題(テーマ)を設定しています。本年からスタートした3ヶ年計画である「中期経営計画2015」においても、この取り組み課題に即したかたちで多くの重点施策を策定いたしました。

[消費者課題]

すべてのお客さまのために

- 安全計画の確実な履行
- 中期施設改良計画の策定
- 危機管理マニュアル・防災教育の拡充
- 安全衛生管理の徹底

最高の舞台であるために

- 両フランチャイズチームとの顧客満足向上・集客増のための連携強化
- 大型ビジョンや天然芝更新計画の検討

より楽しく、より快適にご利用いただくために

- 店舗改装・メニュー変更や効果的な各種企画の実施
- 接客品質の向上
- 新たな市民利用等の検討

お客さまの声をかたに

- 双方向コミュニケーションの強化
- 来場者ニーズの的確な把握と具現化

[コミュニティへの参画及びコミュニティの発展]

地域社会とともに

- 新規コンベンション等の誘致強化
- 地域社会貢献のさらなる充実

[組織統治・公正な事業慣行]

公正に事業を推進するために

- 次期指定管理期間の確実な更新
- 内部統制の一層の充実・強化

[労働慣行・人権]

社員とともに

- 誇りに思える職場であるために
- 新人事考課制度の強化と安定運用
- 規程・ガイドライン等の再点検
- 業務支援ツールの整備

[環境]

環境にやさしい施設を目指して

- 「ECO MOTION 2021」達成に向けた取り組みの推進
- 環境対策設備の導入
- 廃棄物の削減



札幌ドームへのご意見を広くお寄せいただく「オンラインリサーチ」を実施いたしました

札幌ドームをお客さまにとってより安全・安心・快適にお過ごしいただける施設とするため、ご意見公開型のインターネットアンケート「札幌ドームオンラインリサーチ」を初めて実施いたしました。テーマを設けて2012年度は計3回実施し、多くのご意見をいただきました。

第1回 リサーチテーマ 札幌ドームの施設・設備について

2012年7月6日～19日実施

トイレ洋式化の推進、階段・座席の改良、大型ビジョンの改良、コインロッカーの新設、駐車場や入退場ゲートの運用改善などについてのご意見が多数を占めました。ご意見をもとに、トイレの利便性向上、コインロッカーや銀行ATMの新設、駐車場の照明増設などを実施しました。



今後の改善について

スタンドの傾斜角、階段の多さ、カップホルダーの位置などの改修は、ただちは困難ですが、少しでも負担を軽減できる対応策の検討を継続します。大型ビジョンについては、将来の更新に向けて今回のご意見も参考に仕様の検討を行います。また、トイレ洋式化は中期的な計画に従って進めています。

●ご意見の種別と件数

トイレについて [414件]			
洋式化	位置	数不足	その他
132件	90件	63件	129件

観客席について [532件]		その他館内設備について [562件]		
階段	座席	大型ビジョン	コインロッカー	その他
263件	269件	145件	87件	330件

敷地内設備について [172件]			施設運営について [190件]	
シャトルバス	駐車場	その他	入場ゲート	その他
15件	70件	87件	54件	136件

テーマと異なるご意見238件を含む 総ご意見数 2,108件

第2回 リサーチテーマ 札幌ドームの飲食サービスについて

2012年9月7日～20日実施

飲食メニューの内容や価格についてのご意見が最も多く寄せられました。商品開発などの参考となるアイデアも幅広く寄せられ、量が控えめの弁当を増やしてほしいなどの声をふまえ、小さめの弁当メニューの販売を始めました。



今後の改善について

各飲食事業者さまとの協議・検討が必要となるご意見も多くあり、当社だけで対応のお約束ができないものもございますが、一つひとつのご意見をしっかり精査して今後の参考とさせていただきます、お客さまにご満足いただける飲食サービスを提供できるよう取り組んでいきます。

●ご意見の種別と件数

飲食メニューの内容や価格について [518件]				飲食スタッフの接客対応について
味・質	量	種類	価格	
149件	22件	105件	242件	55件

飲食キャンペーンについて	新たな飲食メニューやサービスのアイデアについて [393件]			
	メニュー	サービス	売店	キャンペーン
45件	223件	69件	64件	37件

その他飲食サービス全般について [181件]			
飲食サービスの運営	持ち込み	容器類	その他
54件	37件	20件	70件

テーマと異なるご意見16件を含む 総ご意見数 1,208件

第3回 リサーチテーマ 札幌ドームのウェブサイト・広報物について

2013年3月1日～14日実施

ウェブサイトに関するご意見・ご提案が最も多く寄せられました。現状の広報物への感想やご指摘はもちろん、改善案や新たなアイデアもお寄せいただきました。



今後の改善について

広報誌「イベントニュース」に対するご意見をふまえ、2013年7・8月号はページ数を増やした特別号として発行することを決定。スマートフォンサイトを作ってほしいとの声に対しては、2013年夏頃のオープンを目指して専用サイトの検討を進めています。今後もいただいたご意見を参考に、皆さまにご満足いただけるウェブサイト・広報物となるよう努めてまいります。

●ご意見の種別と件数

ウェブサイトについて [117件]					
全体的な感想	座席ガイド	チケット	アクセス・交通情報	スマートフォン専用サイト	新たなアイデア
32件	27件	9件	4件	14件	31件

イベントニュース（広報誌）について [45件]			地下鉄広告について [29件]	
全体的な感想	新たなアイデア	配布方法	全体的な感想	新たなアイデア
11件	25件	9件	21件	8件

メールマガジンについて [21件]		その他広報へのご意見・ご提案 [45件]		
全体的な感想	新たなアイデア	新たな情報発信の媒体	新たな情報のアイデア	現状広報への感想
13件	8件	25件	17件	3件

テーマと異なるご意見63件を含む 総ご意見数 320件

「札幌ドームオンラインリサーチ」についての詳細は札幌ドームウェブサイトをご覧ください。

*ご意見の件数は、ご回答内に2つの異なるご意見がある場合は2とカウントしています。

お客さまならではの視点をもとにいただいたご意見・ご要望を改善につなげることができました

お客さまのご意見を公開しより幅広く声を集める機会に

水戸 お客さまからご意見を集めるこれまでの方法は個対個のコミュニケーションだけでしたので、より幅広いご意見を集めて公開し、ほかのお客さまの考えも知っていただく機会にできればと、オンラインリサーチを実施しました。結果として幅広くご意見をお寄せいただき、社内の理解と協力体制が整ったことでさまざまな改善につなげることができました。

鈴木 内部の者では気づきにくいご指摘で、新たな視点を与えていただけました。例えば駐車場の照明が暗いというご意見がありましたが、普段から駐車場を歩き慣れた社員とお客さまが感じる暗さの違いを実感しました。既に検討課題としてあったコインロッカーの設置なども、お客さまの声の後押しを受け実現できました。

北條 飲食事業課は飲食事業者さまを通してお客さまのご意見をお聞きすることが多いため、生の声をいただく貴重な機会ととらえ、できるだけご要望に応えられるよう努めていく考えです。お弁当の容器を食べやすい形にしてほしいという声には、はっとしました。特殊な形ではスタンドに座って食べにくいということを、企画段階で想像できていなかったと気づきました。

ご意見をふまえて改善に努め今後も参考にさせていただきます

鈴木 当社の回答も掲載することで、構造上の問題などで実現が難しい理由を説明できたことも良かったと思います。少数意見も受け止めた上で、できることはできる、できないことはその理由、あるいは別の面から



可動席の階段に手すりを設置。知恵を出し合い、折り畳めるタイプにすることで技術的な問題をクリアしました。

ら工夫していくということも、施設として打ち出していければと思っています。また、トイレの問題はやはりお客さまが気になるポイントなのだとして改めて強い認識を持ちました。

北條 飲食のキャンペーンに関するご意見については、お客さまのニーズをとらえた企画内容として柔軟に対応したいので、今後の参考になりました。ポイントカードに対するご要望はすぐに検討を進め、飲食をはじめグッズ購入や展望台利用などの共通スタンプカードを2013年度から導入しました。「チョイ飯シリーズ」やキッズサイズのドリンクなどもご要望に応じて実現しました。接客面へのご意見もふまえ、講習などの取り組みを継続し、飲食事業者さまと連携してサービス強化に努めていきます。

今回の成果をもとに、次年度はモニターアンケートを実施

水戸 今回の成果をもとに、2013年度はモニターを100名募集してアンケートを行います。各部署が知りたいことなど詳しい内容をお聞きするとともに、今回の改善点に対する評価もいただこうと思っています。

鈴木 次回アンケートでも、お客さまが気づかないような細かいことを教えてほしいですね。今回であれば、トイレのコートフックが使いにくいことは、私たちでは気づけませんでした。そうした細かい点であれば



トイレ内のコートフックを使い勝手の良いものに交換。



手軽なお弁当を望む声に応えて「チョイ飯シリーズ」を発売。



抽選でプレゼントが当たる共通スタンプカードを開始。

改善の動きも速くできるでしょう。よりこまやかな気配りのある施設になれるのではないかと思います。

北條 お客さまの飲食メニューに対する満足度を向上させるために、お聞きしたい質問はズバリ「ドームで何が食べたいか」です。今回も具体的な要望をいただいたので、飲食事業者さまと協力して前向きに取り組めました。ドームにたくさん足を運んでくれているからこそご意見なのだろうなとも思いました。

水戸 そうですよね。改善してほしいというご意見がもちろん多かったのですが、変えてくれるのではないかと期待を札幌ドームに対して持ってくださいていると感じました。

左から 総務部 総務課 水戸 美保子
施設部 設備課 鈴木 宏和
商業部 飲食事業課 北條 なお





より質の高いプレー環境を提供するため 人工芝の全面更新を実施いたしました

札幌ドームをホームスタジアムとする北海道日本ハムファイターズ選手会からの要望をもとに、2013年2月に野球用人工芝を全面更新しました。より質の高いプレー環境を実現するとともに、芝のクオリティ維持のための整備・管理面などの改善にも取り組みました。

2011年シーズン終了後、人工芝の更新に向けて検討を始め、2013年シーズンからの使用開始を目指して準備を進めました。一方、旧人工芝については売却や譲渡による有効活用を図ることを決め、売却先の募集や譲渡先の選定などを行った上で各施設へ引き渡しました。

【人工芝更新スケジュール】

- 2011. 12 ファイターズ選手会からの要望を受け、人工芝更新に向けた検討を開始
- 2012. 3 2012年度設備投資計画として人工芝更新を決定
- 7 旧人工芝の売却先を募集
- 11 新人工芝の仕様確定
- 12 旧人工芝の売却・譲渡先の決定
- 2013. 1 着工/旧人工芝を売却・譲渡先へ引渡し
- 2 竣工
- 3 3/2開催のファイターズオープン戦より新人工芝の使用を開始

芝のクオリティを長く保っていくことを最重要視 設計段階から知恵をしぼって工夫を重ねました

走・攻・守に適した 前回と同種の人工芝を使用

松重 内野部分の人工芝が硬くなってきて足腰への負担になると選手の皆さまが気にされたことが、人工芝更新の検討を始めたきっかけでした。

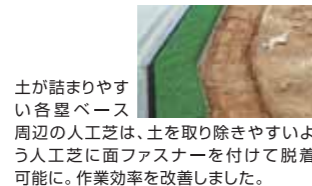
川嶋 2005年から使用してきた芝の耐用年数は10年とされていたため性能試験を行ったところ、数値的にはプロ野球の試合に耐えられる基準内でした。ただ、実際にプレーする選手の皆さまは感触が違うとのことで、更新を決定しました。外野などはまだ状態が良かったため、内野だけ交換する案もありましたが、新旧の芝では差が出るため全面更新としました。

松重 芝の種類については、場面転換作業を行う札幌ドームでは、人工芝を巻き取れることが絶対条件なのですが、実際にプレーする選手の皆さまの意見も伺ったうえで、当社としても改めて調査・検討した結果、同じ種類の芝に決定しました。走・攻・守に適した芝と聞いていますし、選手の皆さまが守りやすい、イレギュラーが非常に少ないと言ってくれているのがうれしいですね。



芝の交換パーツや継ぎ目など 検討を繰り返して新たな工夫

松重 更新にあたって最も重視したのは、芝のコンディションを良い状態で維持すること。そのために、設計段階でどのような工夫をすればいいのか知恵をしぼりました。工夫の一つとして、ダメージを受けやすい部分の芝の交換パーツを用意しました。



土が詰まりやすい各塁ベース周辺の人工芝は、土を取り除きやすいよう人工芝に面ファスナーを付けて脱着可能に。作業効率を改善しました。

川嶋 スパイクが付いた土が人工芝の中に残ってしまうので、グラウンドキーパーが掃除機などで整備しますが、取りきれずにどんどん目詰まりし、特に各塁の周りの芝が硬くなってしまいます。そこで、その部分の芝を2式用意し、整備しながら入れ替えられるようにしました。また、コストを下げるために芝の継ぎ目も工夫しました。1枚あたり40mの人工芝を区切りのいいところで巻き取れるようにしたことで、小さい芝がなくなりました。

松重 継ぎ目部分はイレギュラーの原因にもなるので、内野部分ではできるだけ少なくなるよう割り付けを考えたり、微妙な位置調整もしました。

左から 施設部 設備課 課長 川嶋 嘉史 施設部 設備課 課長代理 松重 一正



川嶋 選手の皆さまから要望されたわけではなく、当社として選手目線に立ち、より良いプレー環境を目指して改善に取り組んだ結果、継ぎ目が減ることによる作業負担の軽減にもつながりました。

メンテナンスにも力を入れ クオリティ維持を目指します

松重 旧人工芝の活用にあたっては、芝の状態を見て、再利用いただく施設の目的や使い勝手なども考えて割り振りしました。状態も良かったので皆さま非常に喜んでくださり、計画通りに引き渡すことができました。

川嶋 一年以上にわたる更新業務を無事、終わらせたこと安堵できたのは、新人工芝で初のプレーとなったオープン戦が問題なく終わった時でしたね。今回の更新に合わせ、芝へのダメージが少ないグラウンドスライパーに変更するなどの改善にも取り組みました。日々のメンテナンスでも工夫を重ね、芝のクオリティをできるだけ長く維持していきたいと思っています。



旧人工芝は、さまざまなかたちで有効活用されています

2005年2月から使用してきた旧人工芝については、芝の状態に応じて札幌ドーム内で再利用しているほか、売却・譲渡先を募り、さまざまな施設で有効活用されています。

札幌ドーム内での再利用

メンテナンス用の予備としても利用

旧人工芝は、札幌ドーム内でも再利用しています。サッカーモードのアップスペース、野球モードでは、ダッグアウト、ミラールーム、ブルペン、カメラマンスペースといったプレーに影響がない部分に使用し、有効活用しています。ダッグアウトについては新しい人工芝に張り替える一方で旧人工芝の状態のよい部分を予備として残り、タイミングを見ながら新・旧を入れ替えてメンテナンスができるようにしました。



●ダッグアウト



●ミラールーム



●サッカーモード アップスペース



●ブルペン



●カメラマンスペース

札幌ドーム以外での利用

道内外の野球・体育施設などで幅広くご活用いただいています

人工芝の全面更新にあたって、旧人工芝の詳しい調査を行い、プロ野球以外の使用にはクオリティに問題がなかったことから、有効活用していただく道を広く探ろうと売却・譲渡先を募りました。用途などのご要望・ご相談に応じた結果、札幌市をはじめ道内外の野球・体育施設のほか、幼稚園の園庭など幅広くご活用いただくことが決まりました。2013年1月から順次、引き渡しが行われ、利用される皆さまに喜んでいただいています。



●北海道帯広緑陽高等学校
野球部が冬期間も練習できるようにと設置されている練習場でご活用いただいています。引き渡し時には部員たちも積み込み作業などを手伝いに訪れ、日々の練習に役立つと喜んでいただきました。



●北海道札幌清田高等学校
札幌市教育委員会を通じて、高校に設置されている室内練習場での利用を目的に譲渡しました。野球やラグビーをはじめ、さまざまなスポーツにご活用いただいています。



●中学硬式野球チーム
北海道野球協会を通じて、リトルシニアチームなどの練習にご活用いただいています。札幌市内外の練習場でも利用されており、アマチュアスポーツ支援の取り組みにもなりました。



●滝川市スポーツセンター
施設内のランニングコースに敷き詰め、ご利用いただいています。従来はコンクリート床で固かったものが、人工芝によってクッション性が生まれ、ランニングなどで体にかかる負担が軽減されました。



●宗教法人 松月院幼稚園
東京都内にある幼稚園の園庭に、人工芝を再利用いただきました。新たに敷き詰められた人工芝の上では、園児たちが毎日、元気いっぱい遊んだり走り回ったりしています。



スポーツ振興を目的に、旧人工芝を寄付した札幌市から、当社に感謝状をお贈りいただきました。

すべてのお客さまの安全と安心のために

すべてのお客さまにとって、安全が当たり前であること、常に安心して札幌ドームを楽しんでいただくことを何よりも大切にしています。



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために… P.12
 東日本大震災を教訓に、防災体制の強化を図っています …… P.13
 大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化 …… P.14
 4万人のお客さまの「食」の安全を守ります …… P.14



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために

市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくために、施設設備の維持保全に努めているほか、来場者サービス向上や安全対策を目的とした改良工事等を行っています。

施設設備の維持保全

お客さまの安全を最優先として、日頃より施設設備の点検を実施しています。設備の耐久年数や使用頻度などを考慮しながら、必要な修繕や設備更新を行うことで、維持保全に努めています。また、清潔で気持ちの良い空間を提供するとともに適切な維持保全を図るため、毎日の清掃に加え、手の届きにくい箇所や細部にまで至る特別清掃も実施。私たちは、市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来に引き継いでいくことも重要な使命だと考えています。

維持保全に関する主な項目

- 機器の修繕や更新
- 設備の補修工事等
- 敷地内の補修等
- 清掃および清掃に関する機器の修繕や更新



【2012年度の主な特別清掃実施項目】

- 床ワックス: ●1階・2階コンコース床面剥離洗浄清掃
 ●西棟ストリート床面洗浄
 ガラス: ●トップライト
 ●展望台・展望台エスカレーター
 ●B1階エントランス・2階外周(内・外)
 ●3階キッズパーク周辺
 ●3階タウンアリーナ連絡ブリッジ
 その他: ●アリーナ照明清掃
 ●屋外サッカー練習場クラブハウス清掃
 ●コンコース店舗看板清掃
 ●南ゲート軒天金属スリット部および壁面通気口除塵
 ●ロケット風船除去

●1階・2階コンコース床面剥離洗浄清掃

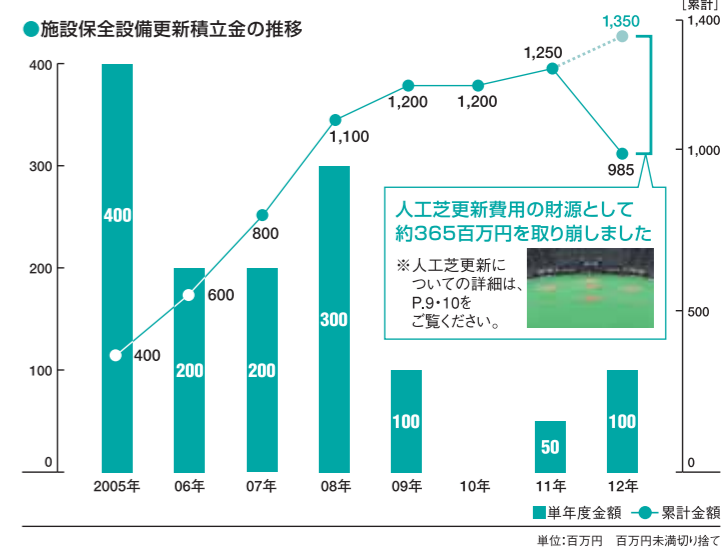
●トップライトガラス清掃

●展望台・展望台エスカレーターガラス清掃

●アリーナ照明清掃

中長期的な維持保全に備え任意積立金を積み立てています

今後、必要となる大型ビジョンなどの大規模な設備更新・維持保全に備え、「施設保全設備更新積立金」として任意積立金を積み立てています。2012年度は、この積立金の一部を取り崩し、開業以来2回目となる人工芝の全面更新を行いました。

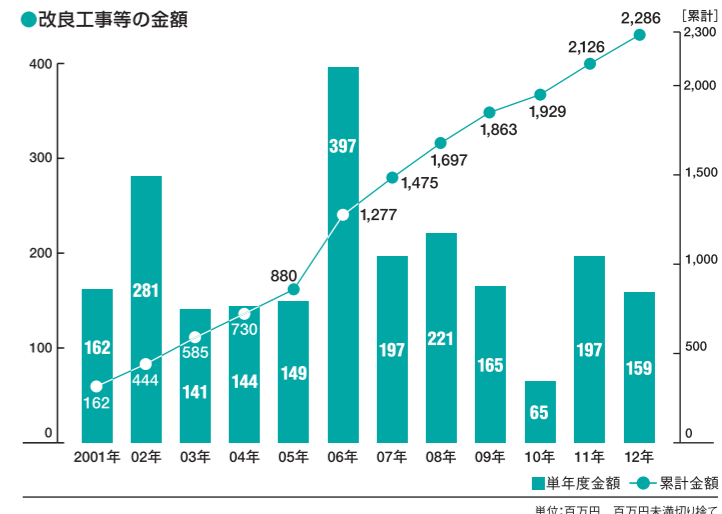


【2012年度の主な修繕・設備更新】

- 建築付帯設備: ●遮光装置整備 ●スタンド席通路等床補修
 電気設備: ●蓄電池設備基盤類交換 ●常用発電機整備
 機械設備: ●放水銃火災検出器整備 ●昇降機EV部品交換
 ●店舗内排気ダクト清掃 ●空調機・送排風機整備
 ●ごみ処理設備部品交換 ●蒸気配管修理
 可動設備: ●ムービングウォール インバーター交換

施設設備の改良工事等

お客さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議の上、施設設備の改良工事等を実施しています。



【2012年度の主な改良工事等】

- 来場者サービス: ●トイレ一部洋式化 ※詳しくは、P.24をご覧ください。
 ●開閉式可動席手すりおよび背当て整備
 ●駐輪場拡幅等整備
 ●1階コンコース売店整備
 主催者サービス: ●AMラジオ受信端子整備
 安全対策: ●誘導灯更新 ●第2駐車場照明増強
 ●コンコース売店空調およびパントリー手洗い器改良
 環境対策: ●展望台ガラス遮熱コーティング
 その他: ●乗用型スィーパー更新 ●スタンド席手すりサビ対策
 ※お客さまからのご要望による改善事例は、P.24をご覧ください。

東日本大震災を教訓に、防災体制の強化を図っています

東日本大震災を教訓として地震対策強化のためのシステムを導入するなど、防災体制の強化に取り組むとともに、関係機関と連携した訓練を実施して万が一の事態に備えています。

防災体制

地震発生時の迅速な対応のために専用の地震監視警報システムを導入

東日本大震災を教訓に、より万全な大規模地震対策を検討し、お客さまの安全確保や避難誘導に役立つ地震監視警報システムを導入。気象庁の緊急地震速報とともに、札幌ドーム内に設置した地震計がP波*をとらえ警報を発信。数秒の猶予時間でも大きな揺れに備えられるため、被害の軽減が期待されます。

*P波:地震発生時に最初に伝わる小さな揺れ。その後、主要動と呼ばれる大きな揺れが発生させるS波が到達します。

防火・防災に関する講習を社員が受講必要な知識と意識を高めています

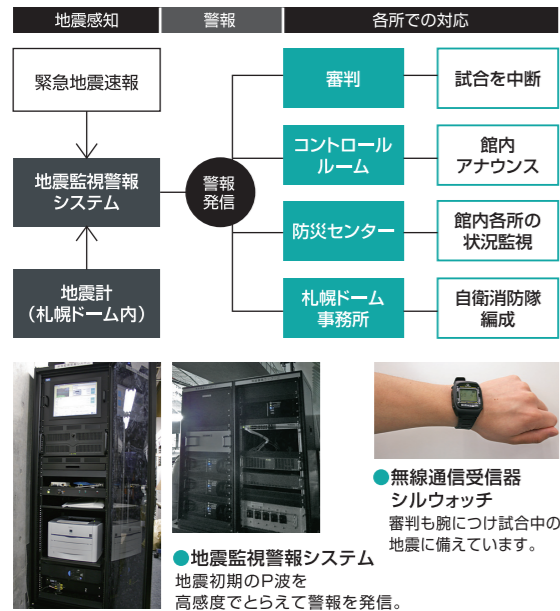
2012年度は、甲種防火管理・防災管理新規講習を12名が受講。さらに、自衛消防隊本部の統括管理者および班長に必要な自衛消防業務新規講習は、6名が受講しました。



プロ野球開催時を想定した、大規模な総合防災訓練を実施しました

札幌ドームは、消防法に基づいて消防計画を作成しています。これに基づき、防火・防災管理委員会を設置して火災発生を想定した防火訓練、大規模地震を想定した総合防災訓練などを実施しています。2012年度は北海道日本ハムファイターズさま、委託事業者さまと協議を重ねた上で、計161人が参加して試合日を想定した大規模な総合防災訓練を行いました。

●地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制(イメージ図)



●札幌ドームの防災システム

防災センターを中心とした総合消防防災システムなどを完備。全館に火災通報設備、非常照明設備、初期消火設備としてアリーナ・スタンド・コンコースなどに消火器や屋内消火栓、放水銃を設置し、消防用水を4か所に確保。非常用発電機も設置しています。

優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。防災センターに設置された総合操作盤を中心とする総合消防防災システムへの評価などで、竣工時に優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。

総合防災訓練の概要

訓練想定:プロ野球試合日(来場者35,000人)にマグニチュード7.3震度5強の大規模地震が発生したと想定

地震警報の認知

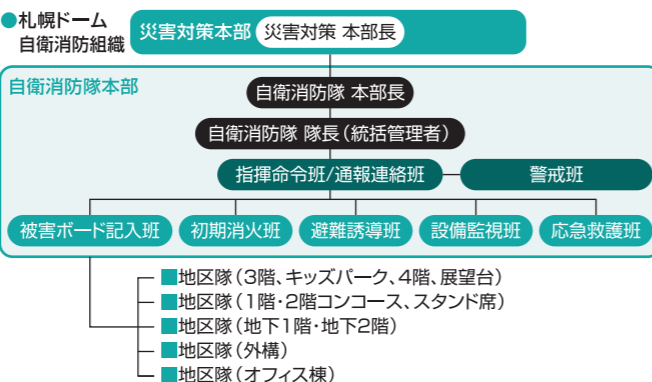
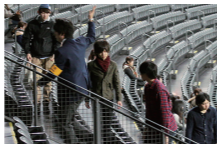
- 試合中断
- 場内アナウンスおよび大型ビジョンによる広報開始
- 災害対策本部・自衛消防本部の設置

地震発生

- 場内アナウンスおよび大型ビジョンによる広報
- 身の安全の確保

地震鎮静後の動き

- 災害対策本部・自衛消防本部の編成
 - ・各地区隊からの情報収集および対応指示
- 施設の安全確認
 - ・被災状況の確認および封鎖
 - ・避難導線の確保
- けが人・迷子発生への対応
 - ・臨時救護所および迷子センターの設置
 - ・けが人・迷子(役)の搬送
- 火災への対応
 - ・119番通報および初期消火の実行
 - ・火災箇所周辺の封鎖
- 来場者の避難誘導
 - ・試合中止の決定
 - ・場内アナウンスによる広報
 - ・来場者(役)の避難誘導



大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化

札幌ドームのすべてのお客さまにとっての安全を最優先に考え、関係機関とも協力して警備体制を強化。救命処置などにあたる体制も整え、お客さまに安心して楽しんでいただける環境整備に力を入れています。

警備体制

センサーや遠隔監視システムなどを用いた機械警備と、警備員による巡回警備を実施。イベント開催時には、警察・消防・主催者さまと連携してお客さまの安全を確保しています。



不審物対策を徹底

近年の不審物などに関する問題への対策として、大規模イベント開催時には入場の際に手荷物検査などを実施しています。各委託事業者さまと協力して担当を決め、清掃や警備などの通常業務の中でも不審物のチェックなどを徹底し、安全な施設管理に努めています。

担当部署	担当場所
常駐警備委託事業者	●バックヤード ●館内 ●敷地内
駐車場警備委託事業者	●駐車場内 ●敷地内
清掃委託事業者	●トイレ ●スタンド
外周警備委託事業者	●橋詰広場 ●敷地境界
音響・映像委託事業者	●コントロールルーム
売店事業者	●店舗 ●バックヤード
札幌ドーム商業部	●店舗 ●チケット売場 ●展望台 ●倉庫
設備管理委託事業者	●バックヤード ●機械室
札幌ドーム施設部	●グラウンドキーパー ●倉庫
場内イベント警備会社(主催者)	●観客エリア ●スタンド ●トイレ

救命体制

AEDを屋内外に計8か所設置 使用方法についての講習も実施

AED(自動体外式除細動器)を屋内外に計8か所設置しています。使用方法について学ぶAED講習も実施し、社員と委託事業者さまが受講しました。



●札幌ドームのAED設置箇所(8か所)



●医務室
大規模イベント開催時は館内に医務室を用意し、医師や看護師の手配を主催者さまに依頼。そのほかのイベントでも応急処置が可能な体制にしています。

4万人のお客さまの「食」の安全を守ります

保健所や民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理を行っています。飲食事業者さまとともに、おいさと衛生面の両立を図っています。

飲食物の衛生管理

衛生管理のための対策を推進

札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会」において、重点的に取り組む4つのマイルールを策定。各会員事業者さまが協調してマイルールの徹底を図り、「食」のさらなる安全を目指しています。

札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底し、売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識の向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに来場するお客様に安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

*マイルールの実施例はP.20をご覧ください。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して2009年6月に創設した制度で、札幌市内の生産者・食品事業者・食品関連団体が対象となります。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して積極的かつ自主的に取り組んでいることの中から、重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取り組み結果を市長に報告します。

ノロウイルスなどの感染防止対策

ノロウイルスの流行期には、館内の出入り口など各所に消毒液を設置しているほか、場内スタッフと連携した吐しゃ物などの適切な処理やキッズパークの遊具などの消毒も行って感染防止を徹底しました。

店舗手洗いの自動水洗面

衛生上の観点から、飲食店舗の手洗いを自動水洗面・温水化する改良工事を行いました。



札幌市・環境衛生優良施設表彰を受賞

衛生管理に努めてきた成果が評価され、札幌市より平成24年度環境衛生優良施設表彰を受けました。

最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめ展示会やコンサートなどのさまざまなイベントを円滑に開催し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台を常にご用意しています。



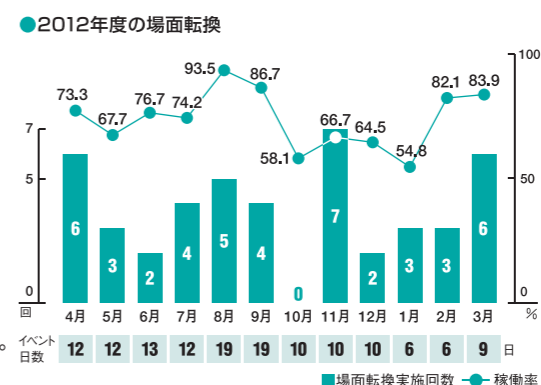
最高の舞台をつくるために …………… P.16
札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに … P.17

最高の舞台をつくるために

トップアスリートやアーティストをはじめ、ご来場いただくすべての皆さまにご満足いただけるように、札幌ドームは最高の舞台を提供するためのさまざまな努力を続けています。

多様なイベントスケジュールに対応し場面転換作業を実施

札幌ドームの多目的利用を可能にしているのは、サッカー、野球、コンサートなど目的に応じたモードへのアリーナの転換作業です。2012年度はコンサートが開業以来最多になったことなどからイベント日数が過去2番目に多く、場面転換スケジュールが過密になりましたが、主催者さまの要望に対応しつつ調整を重ね、計45回の場面転換を安全・確実に行いました。



●場面転換の実施例

当日の実施イベント	イベント終了後の場面転換
28[土] アマチュアスポーツ ①	
29[日] 場面転換	野球→コンサート
30[月]・31[火] 設営	
1[水] コンサート	
2[木] 撤去・場面転換	コンサート→野球
3[金]～5[日] 北海道日本ハム戦	野球→全面人工芝
6[月] アマチュアスポーツ ②	
7[火] アマチュアスポーツ ③	
8[水]・9[木] アマチュアスポーツ ④	
10[金] 場面転換	全面人工芝→サッカー
11[土] コンサドレー戦	

プロサッカー

Jリーグや日本代表戦などに備え 芝生の管理・整備に万全を期しました

ホヴァリングサッカーステージのメンテナンスや芝生の管理などを徹底。特に2012年8月は、Jリーグと日本代表によるキリンチャレンジカップ・ベネズエラ戦が続いて開催されたため、芝生のメンテナンスに万全を期してトップアスリートを迎えました。



プロ野球

すべての試合において選手が最高のパフォーマンスを発揮できるプレー環境に

2012年度はプロ野球公式戦のほかクライマックスシリーズや日本シリーズ、侍ジャパンマッチ・キューバ戦など、多数の試合が開催されました。選手が最高のパフォーマンスを発揮できるように整備に取り組み、質の高いプレー環境を提供しています。



その他のイベント

雪を活用したウィンタースポーツの舞台としても対応

第17回トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム

世界を代表する選手が技を競うスノーボードの国際大会を2013年2月23・24日に開催。温度などの管理をしながら屋内アリーナに大量の雪を運び入れ、高さ36mのジャンプ台を設置するなど、約2週間かけて会場を設営しました。



第33回札幌国際スキーマラソン大会

札幌ドームをメイン会場に2013年2月3日に開催。通常は駐車場などとして使用している敷地の約半分の面積に雪を敷き詰め、コースを設営しました。毎年、必要な雪を計画的に確保し、終了後は速やかに排雪を行って次のイベント開催に備えています。



さまざまなイベントやコンサートなどを開催しました

「K-POPコンサート」や「安室奈美恵ドームツアー」といった、初開催となるアーティストを含め2012年度のコンサートの開催数は開業以来、最多となりました。ほかにも、就職活動など多様な目的のイベント開催に対応しました。



- 中古車市
道内最大規模の中古車の展示・販売イベントを開催。
- 合同企業説明会
学生向けの大規模な合同企業説明会の会場として対応。



各イベントは広報誌や地下鉄広告などで告知

各開催イベントについては、広報誌「札幌ドームイベントニュース」や地下鉄広告などで告知。より多くのお客さまにご来場いただくための告知活動を積極的に行っています。

■多目的利用を可能にする世界初のシステム

天然芝のホヴァリングサッカーステージが移動。野球とサッカーの場面転換を行う世界初のシステムが、札幌ドームの多目的利用を可能にしています。



- 1 野球フィールドの人工芝を巻き取り、開口部を開放。開閉式可動席を収納します。
- 2 ホヴァリングサッカーステージの移動と連動して旋回式可動席も移動させます。
- 3 ステージがクローズドアリーナに到着後、旋回式可動席とともに90度回転し、野球の内野席とサッカーのメインスタンドを一致させます。
- 4 開口部を閉じ、開閉式可動席を復元してサッカーモードへの転換が完了です。

札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに

「コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」。市民道民に愛される2つのプロチームを支えるとともに、サポーターやファンの皆さまにより楽しんでいただけるように、さまざまなかたちで協力しています。



札幌ドームを本拠地とする両チームの活躍をさらに盛り上げていくために、札幌ドーム内の各所にチームのロゴマークなどを使った装飾を行っています。



●タウンおよび階段装飾

●館内エレベーター装飾



札幌ドームの最寄り駅・地下鉄福住駅と連携し、両チームと札幌ドームが共同で構内に装飾を設置。駅を利用するお客さまのチームや観戦への関心を高めています。

●地下鉄福住駅装飾

プレー中の選手写真やチームスローガンなどを福住駅コンコースなど構内各所に設置。



コンサドーレ札幌との連携

より多くのお客さまにご観戦いただき、楽しんでいただくための協力をを行っています

【2012年度の主な実施項目】

ホヴァリングサッカーステージを皆さまと協力し除雪

ホーム開幕戦を前に、サポーターをはじめ313名の皆さまにご協力いただき、芝を傷つけないよう除雪の仕上げを手作業で行いました。



テラスイベントへの協力

サポーターの皆さまが楽しみにしている屋外テラスで開催するイベントに協力。



試合時の館内装飾の制作に協力



ポケットスケジュール制作・配布に協力



試合終了後、展望台を特別営業

全国各地からの観戦を意識し、試合終了後、展望台の特別営業を新たに実施。観戦チケットの提示で入場料金を割引しました。



試合開催日にグルメ企画を実施

●コンサドーレスクラッチ



●コンサドーレ限定メニュー



●コンサドーレ応援弁当

●サンキューメニュー



コンサドーレ札幌

1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームをホームスタジアムとし、Jリーグの中でも特に熱いサポーターとともに熱戦を展開。サポーターの皆さまには、毎年、ボランティアとしてサッカーステージの除雪作業にご協力をいただいています。

札幌ドームは、チームスポンサーとしてさまざまな協力をしています。

チケット販売支援

札幌厚別公園競技場開催試合のチケットも、札幌ドームメンバーズクラブ会報紙「DOME PRESS」などで告知し、販売しています。



北海道日本ハムファイターズとの連携

ファンの皆さまとチームの交流を深める機会や練習環境の整備などで協力をしています

【2012年度の主な実施項目】

スポンサーデーを開催しました

チームのさらなる活躍を願い、さまざまな企画を盛り込んでスポンサーデーを開催しました。



テラスイベントへの協力

屋外テラスを開放してお楽しみいただく「北海道祭り」などのイベント開催に協力しています。



試合日に実施する各種企画に協力

札幌ドームの敷地内で開催される花火大会に協力。諸官庁との調整なども行いました。



優勝パレードに協賛

リーグ優勝を記念して実施されたパレードに協賛し、ファンの皆さまとともに、優勝を喜びました。



より楽しい飲食企画を実施

●ファイターズ応援弁当



●バリューメニュー



芝生の育成管理を徹底しています



最高の状態でプレーできる環境を維持するため、芝生の育成状況などを日々確認しながら整備を実施。試合前日に屋内で練習できるように日程調整するなどの協力もしています。



●屋外サッカー練習場の貸し出し
シーズンを通じて芝生でトレーニングできる屋外サッカー練習場を貸し出し、ホヴァリングサッカーステージと同じクオリティの練習環境を提供。

札幌ドームMVP賞

2012年度に最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈呈



2012年度はコンサドーレ札幌の日高拓磨選手が受賞。

札幌ドームは2004年度から毎年、その年に札幌ドームで最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈っています。コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズから各1名を選び、歴代の受賞選手の記念プレートを札幌ドーム西ゲート前に設置しています。



2009年度からはファン投票の結果をもとに受賞選手を決定しています。



2012年度は北海道日本ハムファイターズの吉川光夫選手が受賞。

練習環境の整備に協力しています

試合日以外の札幌ドームでの練習日をできるだけ要望に応えられるよう調整。マウンドの状態など練習前の整備も念入りに行い、チームのために良好な練習環境を提供しています。



●練習環境の提供
バッティングケージの準備など練習環境の整備に協力。フェンスに付いたボール跡も手作業で拭き取るなど、気持ちよくプレーできるよう配慮しています。



より楽しく、より快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食・物販事業をはじめ自主イベントの開催や市民利用などの充実を図っています。



スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように … P.20
 ショッピングや観光をお楽しみいただくために … P.21
 新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して … P.21
 市民の皆さまに、より多くご利用いただくために … P.22



ご来場者数3,000万人を達成

開業以来、ご来場いただいたお客さまの人数が、2013年1月11日に3,000万人を達成。札幌ドームは今後も、より多くのお客さまに楽しく快適にご利用いただくための努力を続けてまいります。

スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように

札幌ドームでイベントとともにスタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように、メニューの充実はもちろんサービス面の強化などにも力を入れています。

飲食事業

2軒の新店舗がオープンしました



イベントに訪れたお客さまの要望に応え、飲食の楽しみをさらに広げるため、飲食店舗2軒を新たにオープン。多くのお客さまにご利用いただいています。



Rock 'N' Roll's

●ロックンロールズ
 2013年3月オープン。タバコ入りドリンクやコーヒーなどソフトドリンク専門店。



●築地銀だこ
 2012年9月オープン。観戦中でも手軽に食べられるメニューとして人気です。

お客さまに楽しんでいただける飲食企画を展開



札幌ドーム内のさまざまな飲食メニューをさらにお楽しみいただくために、商品プレゼントなどを盛り込んだ企画や期間限定メニューなどを展開しました。

●グルメBINGOツアー2012
 ～ドームのグルメを食べつくせ～
 飲食売店の対象メニュー購入によるビンゴゲームで、抽選で賞品をプレゼント。

●秋の味覚列車 食欲∞
 2012年8月28日～9月29日に、「秋」をテーマにした限定メニューを販売。



お弁当のアレルギー情報をウェブサイトからも発信

お客さまに安心して選んでいただくことができるように、販売している弁当に含まれるアレルギー物質の情報をPOPやパンフレットのほか、ウェブサイトからも発信しています。



バラエティ豊かな新メニューを開発 飲食の楽しみを広げています

ビールに合うメニューからスイーツまで、さまざまなお客さまにお楽しみいただける新メニューを積極的に開発。「グルメガイド」によるメニュー紹介も好評をいただいています。



■札幌ドーム館内では飲食店舗のほか飲食売店・ワゴン売店が営業しています

- 飲食店舗(通年営業) ……2か所
- 飲食売店(イベント時のみ) ……23か所
- ワゴン売店(イベント時のみ) ……14か所
- その他お弁当ワゴン等(イベント時のみ)



■衛生意識向上とサービス強化に「スタッフハンドブック」を活用

「札幌ドーム飲食事業者協会マイルール」に基づき、身だしなみや手洗い方法などを記載した「スタッフハンドブック」を制作・配布したほか、衛生・サービスの講習会を開催しました。



ショッピングや観光をお楽しみいただくために

ご来店いただくお客さまに、ショッピングや観光の面からも札幌ドームを十分に楽しんでいただけるように、新たな魅力づくりに取り組んでいます。

物販事業

観戦を盛り上げる応援グッズを多く取り揃えています。2012年度からは、北海道日本ハムファイターズ主催試合で応援に使用するロケット風船をスタンドで販売しているほか、インニングごとに撮影した選手の写真を掲示し、その場で販売するサービスも登場しています。



札幌ドーム館内ではグッズ店舗とグッズワゴンが営業しています

- グッズ店舗(通年営業)…1か所
- その他グッズワゴン等(イベント時のみ)



観光事業

観光に訪れるお客さまにより楽しんでいただくため、展望台の展示コーナーや南北連絡通路のメモリアルコーナーに、札幌ドームで開催されたイベントの記念品を展示しています。

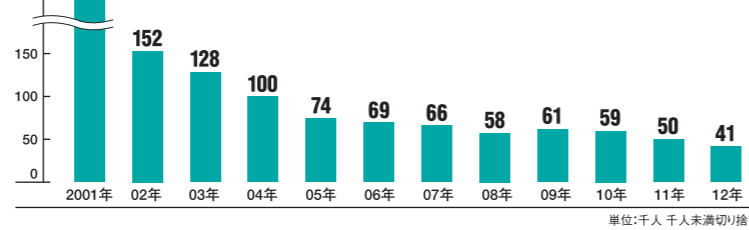


札幌ドームには国内唯一のドーム展望台があり、ドームの裏側をご紹介しますツアーも実施しています

高さ53mの展望台からはアリーナ全景と札幌市街の大パノラマを楽しめます。専属アテンダントが案内するドームツアーも実施しています。



観光(ドームツアー・展望台)来場者数の推移



新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して

札幌ドームの新たな魅力を発信し、さまざまなお客さまにさらに楽しんでいただけるように、当社が企画・運営を行う自主イベントの開催にも取り組んでいます。

自主イベントの開催

北ガスグループ 6時間リレーマラソン

札幌ドーム開業10周年記念事業として立ち上げたイベントを2012年も継続開催。6時間の周回数をチームで競う種目などを実施し、1,087チーム・8,276人にご参加いただきました。



ふわふわアドベンチャー

大型エア遊具が屋内アリーナに登場。子どもに大人気の冬休み恒例のイベント。



展望台コンサート

展望台からの眺めとお楽しみいただける「オタムサンセットジャズ」を開催。



子ども向け体験企画の開催

札幌ドーム冒険ツアー

通常のドームツアーでは見ることができないビール基地やボイラー室などを見学。



小学生サッカー教室

コンサドーレ札幌の選手にご協力いただき、屋内アリーナでサッカー教室を開催。



グリーンキーパー体験

プロの試合が行われるホヴァリングサッカーステージの芝生管理の仕事を経験。



ミズノ親子野球クラブ教室

「ミズノ」のスペシャリストの指導で、パーツを組み合わせて野球クラブを作製。



市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

札幌ドームの屋内アリーナやサッカー練習場などを市民の皆さまにもご利用いただいています。また、地域の皆さまの健康のお役に立てるようにトレーニングルームも運営しています。

アリーナ無料開放

～おとなも!子どもも!秋のスポーツバイキング～

トレーニングルームが開業10周年を迎えたのを記念して、アリーナの無料開放を実施。さまざまなスポーツアトラクションを用意し、ご家族そろって楽しみいただきました。



● 壁間ダッシュ
グラウンド上の1塁・2塁間をダッシュレタイムを計測。



● フラダンス教室
専門講師の指導による運動教室は10種類のメニューを実施。



- 1周350mのランニングコース
- 10種類の運動教室体験
- 壁間ダッシュ
- スピードガンコーナー
- ズムニックボール等で遊べるフリースペース
- 体力チェックコーナー 等

トレーニングルーム無料開放

アリーナとともに、トレーニングルームも無料開放。各種マシンを利用したトレーニングを体験いただきました。



トレーニングルーム10周年事業として 幅広く楽しめる健康増進の機会を企画しました

トレーニングルーム10周年事業として、いつもご利用いただいているお客さまへの還元と、新規利用の開拓を目的とした無料開放に加えて、地域貢献を重視して対象年齢をさらに広げ健康促進の機会を提供しようと、アトラクションを盛り込んだアリーナ無料開放を企画しました。初めての企画だったため、備品や人員の手配、運営方法などから準備を進めました。2012年11月10日に実施し、約3,600人ものお客さまにご来場いただきました。外遊びには寒い時期だったこともあってお

子さまと一緒にご利用が多く、なかなか入る機会のないアリーナを走り回って楽しんでくださったのが印象的でした。また、運動教室の講師をお願いしたことで人脈が広がり、後日、トレーニングルームでの運動教室も実施できました。今後もこうした取り組みなどでより多くのご利用をいただき、トレーニングルームの設備やサービス面の質も上げていきたいと思っています。

営業部 企画運営課
木林 綾音



札幌ドーム NIGHT RUN

寒さや雪の心配がないコンコースの一部をランニングコースとして一般開放する「札幌ドーム NIGHT RUN」を実施。2012年度は2月13日から計16日間、ご利用いただきました。



トレーニングルーム

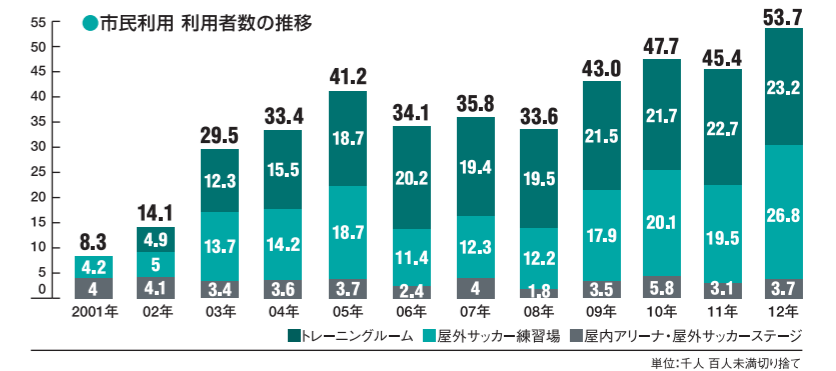
テレビモニターを増設

トレーニングルームをご利用いただいているお客さまの声を反映し、設備更新・改良などサービス向上に取り組んでいます。2012年度は、テレビモニターの増設などを行いました。



トレーニングルーム

各種トレーニングに対応できる20機種35台のマシンを完備。トレーナーからアドバイスを受けることもでき、初心者から経験者まで、地域の皆さまの健康・体力づくりの場として根付いています。



札幌ドームでは、屋内アリーナや屋外サッカー練習場を、市民の皆さまにご利用いただいております

市民の皆さまにご利用いただけるのは、屋内アリーナの草野球・サッカー利用。屋外では、サッカー練習場の天然芝(1面)・人工芝(1面)に加え、天然芝のホヴァリングサッカーステージもご利用いただけます。野球やサッカー以外のさまざまな用途でもご利用いただいています。



お客さまの声をかたちに

お客さまの声は、私たち札幌ドームにとって貴重な財産です。私たちにお届けいただいた声を少しでもかたちにできるように、学ぶ姿勢を持って、真摯に耳を傾けています。

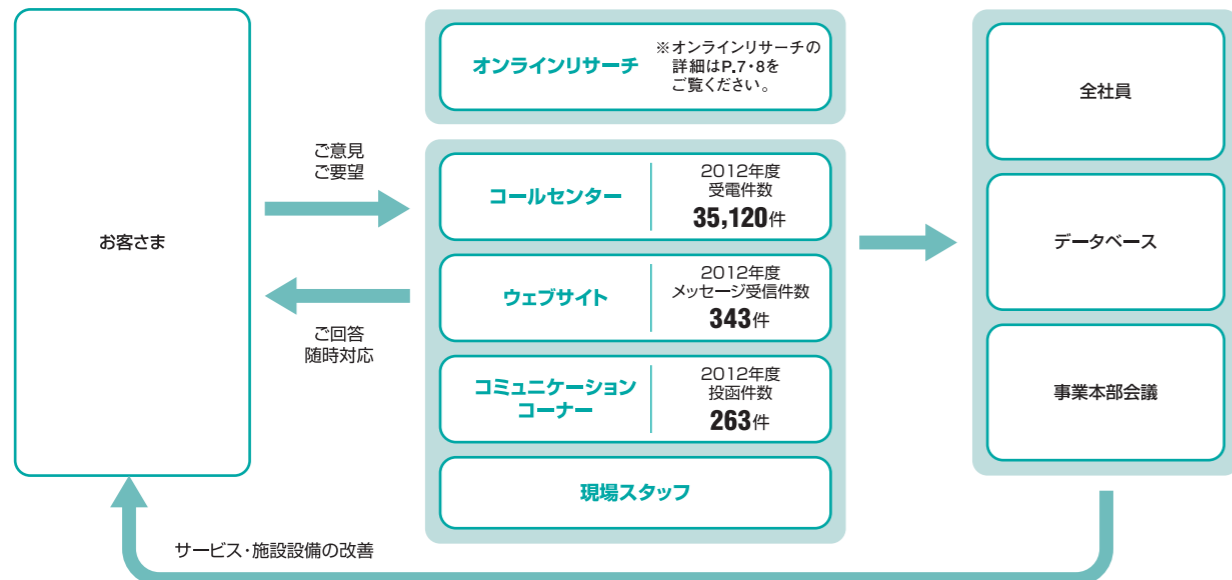


2012年度、お客さまの声がかたちとなりました…… P.24



お寄せいただいたお客さまの声を生かすために

コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに寄せられた貴重なご意見は、電子化して経営層を含めた全社員に配信。すべてデータベース化し、十分な検討が必要なご意見については、事業本部会議にて改善に向けた議論を重ねています。すぐに解決できないご要望などについては、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っています。



より幅広くご意見をいただくためアンケートも実施

幅広いお客さまからご意見をいただくために、イベントにご来場・ご参加いただいた皆さまにアンケートをお願いしています。イベントの内容や運営、施設設備などさまざまな面について頂戴したご意見は、改善に向けての参考にさせていただきます。

下記のイベント・企画にご来場・ご参加いただいたお客さまにご協力いただきました。

- 北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム
- ふわふわアドベンチャー ●展望台コンサート
- アリーナ無料開放～おとなも!こどもも!秋のスポーツバイキング
- 小学生サッカー教室 ●札幌ドームみらいシート

2012年度、お客さまの声がかたちとなりました

コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに加え、オンラインリサーチを通じてお寄せいただいたお客さまの声をふまえ、サービスや施設設備の改善などに取り組んでいます。

2012年度の改善事例

フィールドシートのトイレ利用を便利に

フィールドシートからトイレまでの距離が離れていたため、改修工事を行ってスタンドを上り下りせずに地下2階のトイレをご利用できるようにしました。



コインロッカーを設置

遠方からお客さまや座席をゆったりご利用されたいお客さまのためにコインロッカーを新設。イベント開催日には計5か所をご利用いただけます。



駐車場エリアに照明を増設

夜間、駐車場通路の照明が暗いという声にお応えして照明を増設。省電力のLED照明を使用し、電力低減にも努めました。



駐輪場を拡張・整備

大規模イベント開催時に混雑し、自転車をご利用のお客さまにご不便をおかけしていた駐輪場を拡張。自転車をワイヤーロックで固定するためのパーも設置しました。



銀行ATMを1階コンコースに設置

1階コンコース・南ゲート3付近に、銀行ATMを設置。イベント開催時に、国内主要銀行のキャッシュカードをご利用いただけます。



スタンドに階段手すり・背当てを設置

これまで手すりが付いていなかった閉閉式可動席エリアのスタンドの階段に、手すりを設置。また、通路に面した座席部分の後部には、背当てを新設しました。



案内サイン増設などでトイレをより使いやすく

1階コンコースのトイレに、個室ごとの設備がひと目で分かるマップを設置。個室内のコートフックは上着が滑り落ちにくいタイプに取り替え、洋式トイレ内には便座除菌クリーナーも設置しました。お客さまのご要望にお応えし、より清潔に快適にお使いいただくための改善に取り組みました。



「お客さまの声をかたちに」の項目をウェブサイトに設け改善事例などを紹介

ウェブサイト「会社情報・CSR」メニューの「お客さまの声をかたちに」から、主な改善事例などをご覧いただけます。



【その他の改善事例】3階キッズパーク横のトイレドアの更新やエレベーターの各階乗り場に階数表示を設置したほか、2階多目的トイレにユニバーサルシート(多目的シート)を増設するなどの工事を実施しました。

中期的な改善事例

洋式トイレの割合を高める改修工事を中期的な計画に従って進めています

ご要望の多いトイレの洋式化推進については、他の公共施設の和式・洋式割合を調査するなどの検討をした結果、和式10%・洋式90%を目指す改修を2010年に決定しました。洋式トイレの方が和式よりもスペースを必要とするため、個数を減らさないようレイアウトを工夫。環境に配慮して擬音機も設置。中期的な計画に基づき、2010年度よりお客さまの利用頻度が高いトイレから改修を進めています。

●改修による洋式トイレ割合の推移



地域とともに成長するために

市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、札幌ドームは地域社会に貢献する活動にも力を入れ、地域社会の一員としてともに成長していくことを目指しています。



地域社会のための取り組みに力を入れています…………… P.26
 未来を担う子どもたちのために…………… P.27



地域社会のための取り組みに力を入れています

地域社会の一員として、さまざまな事業を通じて地域に貢献していくことに力を入れています。また、地域の皆さまの活動のサポートにも積極的に取り組んでいます。

大型イベント開催による貢献

大型イベントの開催を通じて、地域経済の活性化に貢献しています

札幌ドームで開催するスポーツやコンサートをはじめとする大型イベントには、札幌市内はもちろん全国、全国各地からも多くのお客さまにご来場いただいています。これに伴い、お客さまには交通機関のほか飲食、宿泊施設などをご利用いただくことから、札幌ドームも地域経済活性化の一端を担う役割を果たしています。



●北海道日本ハムファイターズ戦 ●コンサドーレ札幌戦



●第17回トヨタ・ビッグ・エア ●侍ジャパンマッチ2012

■2012年度 スポーツイベント	開催日数	
コンサドーレ札幌戦(ナビスコカップ含む)	12日	スポーツイベント 総来場者数 2,058,604人
北海道日本ハムファイターズ戦(クライマックス・日本シリーズ含む)	68日	
キリンチャレンジカップ2012 日本代表 VS ベネズエラ代表	1日	
侍ジャパンマッチ2012 日本代表 VS キューバ代表	1日	
第17回トヨタ・ビッグ・エア in 札幌ドーム	2日	

■2012年度 コンサート	開催日数	
MR.CHILDREN TOUR POPSAURUS 2012	1日	コンサート 総来場者数 440,214人
EXILE TRIBE LIVE TOUR 2012~TOWER OF WISH~	2日	
K-POP NON-STOP LIVE 2012 IN SAPPORO	1日	
ARASHI LIVE TOUR Popcorn	3日	
namie amuro 5大ドームTOUR 2012~20th Anniversary Best~	1日	
GIFT of SMAP -CONCERT TOUR 2012-	2日	

■2012年度 コンベンション・その他	開催日数	
北ガスグループ6時間リレーマラソン in 札幌ドーム	1日	コンベンション・ その他 総来場者数 280,374人
ふわふわアドベンチャー in 札幌ドーム	4日	
オータムRunフェスタ2012 in 札幌ドーム	1日	
アリーナ無料開放~おとなも!こどもも!秋のスポーツバイキング~	1日	
その他	37日	

■2012年度 イベント開催実績	計	138日	2,779,192人
------------------	---	------	------------

北海道を代表するイベントに協賛

- さっぽろオータムフェスト
- ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo
- さっぽろ雪まつり
- カルチャーナイト
- 道新・UHB花火大会
- 札幌交響楽団維持会員
- 北海道国際音楽交流協会賛助会員



ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

震災復興支援および寄付活動

札幌市「さぽーととほつと基金」への寄付を通じて東日本大震災の被災者支援に協力。また、「歳末たすけあい募金」への協力は2006年度から行っており、2012年度も自主イベントの収益金の一部を寄付しています。



地域の活動支援

地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます

札幌ドームの屋外テラスを参加者が思い思いのペースでランニングに挑戦する「オータムRunフェスタ2012 in 札幌ドーム」を初めて開催。豊平区民の健康増進やスポーツ文化の振興などを図るため、豊平区と札幌ドームなどの主催で行われ、親子づれなど多くの市民の皆さまが参加しました。



●冬季ボランティアサポートプログラム
地域の皆さまとともに周辺歩道の砂まきなどを行うことで、安全で快適な冬の歩行環境を実現しようと北海道開発局が実施。札幌ドームも地域の一員として協力しました。



町内会の一員としての活動にも積極的に参加しているほか、近隣の約12,800世帯を対象に、札幌ドームでの開催イベントの情報などを掲載した広報誌「札幌ドームイベントニュース」を配布しています。

- 地元町内会主催「花ランド事業」への協力
- 地元町内会主催夏祭りなどへの賞品提供
- 豊平区成人の日への協賛

●ウェルカム
キャンドル2012
手作りのアイスキャンドルに火を灯し、ドーム前広場を彩るイベントに町内会の皆さまと共同で取り組みました。



●花ランド事業
地域を花で飾る事業に参加。札幌ドーム周辺での植花や維持管理作業などを町内会の皆さまと一緒に進めました。



みらいを担う子どもたちのために

札幌ドームの試合観戦に招待する事業や教育、スポーツに関連する支援活動などを通して、みらいを担う子どもたちの健やかな成長を応援しています。

観戦招待事業 「札幌ドームみらいシート」

「札幌ドームみらいシート」は、「初めての札幌ドーム」をコンセプトに、札幌ドームで開催されるコンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に札幌市内の小学校3年生とその保護者さまをご招待するプロジェクト。子どもたちがスポーツへの関心を高め、地域・学校・家族の絆が深まることを期待して各試合20組40名を抽選で招待。2012年度は72校2,408名にご観戦いただきました。



■札幌ドームみらいシート
ご招待実績(2008年~2012年)
・コンサドーレ戦41試合
・ファイターズ戦268試合
349校 計11,830名様
【特別ご招待】
・コンサドーレ戦4試合
・ファイターズ戦15試合
養護施設および
母子支援生活施設 360名様
市内公募 550名様
計12,740名様

●子どもたちからのメッセージ

おきくんを
よこはせられるような
ファイターズに
なりたいです。②③

みらいシートは、とてもおもしろい。見やすい
ところであれは、さかして、おもしろい。札幌ドームに行きたいです！♡

初めて、行けて楽しかった。でも
野球も楽しく続けています。

みらいシートにおうぼしてよかった。
あまり見るまがいがないから。楽しかったです。
またこういうコロシアムにできるプロジェクト
があったらいい。

おともちと、いっしょにみれることが
なかったの、すごくたのしかったです。

●保護者さまからのメッセージ

とても良い席だったので、ゆっくりおしゃべりし、同級生が近くにいたので、
時間をもた余す事なく最後まで楽しめました。初フセンとばしもできて大観！
と、夢のお企画だと思われ、子供にとは、親にとは、ステキな思い出です。
仲良し友達と一緒に観戦、嬉しく、楽しい。素晴らしい時間をありがとうございました。
是非、今後も、応援致します。アイト!

みらいシートでご観戦された皆さまには、毎年アンケートにご協力いただいております。
ご意見は社内で共有し、施設の管理運営に活かしております。ご協力いただきました
皆さま、誠にありがとうございました。

児童養護施設・母子支援生活施設などの 皆さまに観戦チケットを贈呈しました

「札幌ドームみらいシート」事業の一環として、
札幌市内の児童養護施設や母子支援生活施設
などの皆さまにみらい
シートチケット80名分
を贈呈。この事業により、
札幌市から感謝状を授
与されました。



アマチュアスポーツ支援

札幌市との協定に基づき、アマチュアスポーツ大会の開催を支援しているほか、当社独自の支援も行っています。大会の運営にあたっては、開催規模を考慮しながら主催者さまと打ち合わせを行い、さまざまな面からサポートしています。



●コンサドーレカップ2013
第13回 全道市町村
サッカーフェスティバル
全世代対象の大規模なフットサル大会。
一度に11面取れる屋内施設は道内では
ほかになく、快適なプレー環境を提供
しています。



●2012 FIGHTERS
ジュニア王座決定戦
札幌ドームでの決勝トーナメントを
目指して、全道各地の野球少年が参加。
ジュニア用のホームランゾーンやマウンド
を設置するなど、運営協力を行っています。

スポーツイベント・団体への支援

- 北海道マラソン
- 宮様スキー大会後援会員
- ノルディア北海道賛助会員

札幌ドーム青少年スポーツ育成活動

主に18歳以下の主要アマチュアスポーツ競技団体を対象として、地域のスポーツ振興と発展を目的とした技術指導、選手育成の場を提供しています。

北海道代表の高校野球チームに練習の場を提供

日程調整が可能な場合、北海道の代表として全国大会等に出場する高校野球チームに、札幌ドームを練習の場として提供しています。

- 11月に開催される明治神宮野球大会に出場する秋季北海道地区大会で優勝したチームに、人工芝の感触に慣れることを目的に提供。
- 3月に開催される選抜高校野球大会に出場するチームに、冬場の練習環境を考慮し、実戦感覚を養うための広く快適な練習の場として提供。



張り替えたばかりの新人人工芝で練習に汗を流した北照高校(左)、遠軽高校(右)の部員の皆さま。

「第2回 札幌ドームこども絵画展2012」

小学生を対象に札幌ドームをテーマにした絵画作品を募集し、「第2回 札幌ドームこども絵画展2012」を開催。寄せられた198点の作品を審査し、札幌ドーム大賞をはじめとする30点の入賞作品を決定しました。入賞作品はウェブサイトで紹介したほか、全応募作品を館内に展示し、ご来場されたお客さまに楽しんでいただきました。



●札幌ドーム大賞
コンサドーレ
J1昇格ゴール
鈴木 俊太郎さん
(小学4年生)



2012年9月25日~10月
22日の期間、全応募作品を
札幌ドーム南北連絡通路に
展示しました。



表彰式には特別審査員を務めたドーレくんとB・Bも参加し、入賞者に賞状と賞品が贈られました。なお、応募作品は事前に社内に貼り出し、社員投票を行って入賞決定の参考にしました。



●金賞
小学1・2年生部門
夜の札幌ドーム大好き♡
福島 優斗さん(小学1年生)



●金賞
小学3・4年生部門
いつも見てるよ
コンサドーレ
横浜 幹大さん(小学4年生)



●金賞
小学5・6年生部門
札幌ドームとかぼん
シューマン 璃季さん(小学6年生)

教育・文化支援

小中学校の総合学習や職場体験に協力

札幌ドームは、小中学校の総合学習や職場体験活動に協力しています。2012年度は北海道警察学校の職場体験にも協力し、館内の清掃作業の体験や札幌ドームの環境への取り組みについての説明などを行いました。



札幌ドームが培ったノウハウをもとに 地元小学校の芝生化を支援しています

札幌市の「緑の学び舎づくり事業」により、2010年度に校庭を芝生化した市立羊丘小学校の芝生の維持管理を支援。2012年度は当社のメンテナンス作業機械を運んで芝生の更新作業などをお手伝いし、良好な維持管理に向けて継続的に支援しています。



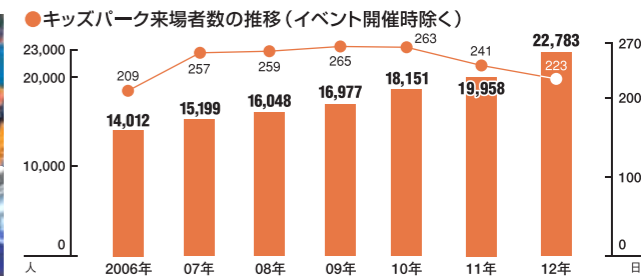
札幌ドームが培った芝生の維持管理に関するノウハウをもとに、地元小学校で芝生の更新作業のひとつであるエアレーションや肥料散布などをお手伝いしました。

●大型複合遊具「キッズパーク」は 地域の子どもたちに親しまれています

札幌ドーム3階にある「キッズパーク」は、子どもたちが元気に遊べる大型複合遊具。イベントが開催されない日には無料でご利用いただくことができ、地域の子どもたちに親しまれています。



小さなお子様向けのベビーコーナーを併設し、授乳室やおむつのサンプリングマシンも用意しています。



※札幌ドームの総来場者数実績には、キッズパークの利用者数は含まれておりません。■利用者数 ●開放日

[公正に事業を推進するために]

信頼される企業であるために

札幌市の出資団体であり、「札幌ドーム」の指定管理者である私たち株式会社札幌ドームは、札幌ドーム条例等に基づきコンプライアンスを徹底し、公正に事業を推進しています。

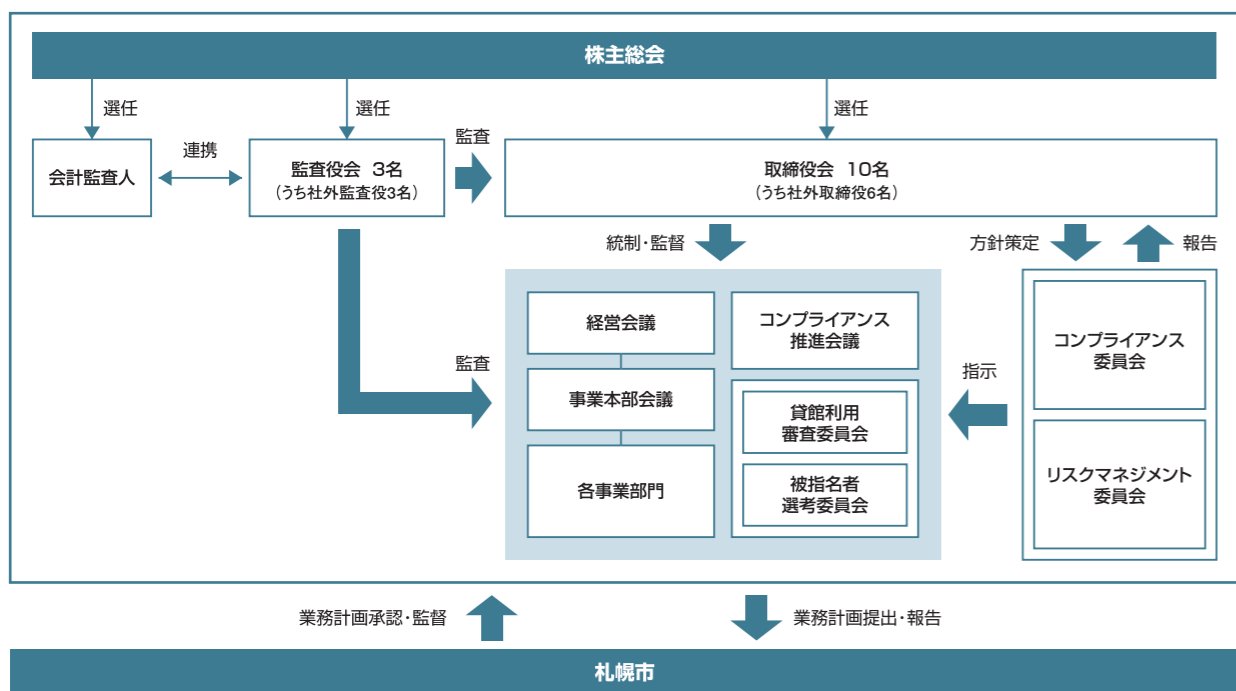


信頼される企業であるために、公正に事業を推進します …… P.30



コーポレートガバナンス体制

当社は、札幌市が55%出資する出資団体であり、「札幌ドーム」の指定管理者でもあります。市民の皆さまの大切な財産を管理運営する企業として、札幌ドーム条例等に基づき、公正に事業を推進するため、以下のようなコーポレートガバナンス体制をとっています。



信頼される企業であるために、公正に事業を推進します

当社は、信頼される企業であるため公正に事業を推進し、札幌ドームの管理運営にあたっています。また、さらなるコンプライアンス意識の向上を目指す取り組みも進めています。

コンプライアンスの推進

コンプライアンスの徹底および浸透を図るため、コンプライアンス委員会と、委員会のもとで具体策を企画立案するコンプライアンス推進会議を設置。コンプライアンス相談窓口の設置や社員研修なども実施しています。

相談窓口の設置

法令違反や不正行為などのコンプライアンス違反の未然防止、早期発見を目的に「コンプライアンス相談窓口」を2012年7月に設置しました。複数の社内窓口と、当社顧問弁護士による社外窓口を設置し、適切に対応できる体制を整備しています。

eラーニングによる研修を実施

コンプライアンスに関する基礎的な知識や倫理観を高める教育の一環として、eラーニングによる研修を実施。対象の全社員67名が受講を完了しました。今後は、新入社員を対象とした研修として継続していきます。



ソーシャルメディアガイドラインを制定しました

電子掲示板やブログなどのソーシャルメディアが社会に影響を及ぼすリスクを考慮し、社員がソーシャルメディアを利用する際の基本的な考え方や留意点を定めたガイドラインを制定しました。

リスクマネジメント委員会の設置

当社の内部統制システム構築に関する基本方針に基づき、リスクマネジメントの強化および推進を図るため、2013年3月より代表取締役社長を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置。リスク対応に関する方針等の策定、リスク管理に対する教育・訓練のほか、危機管理に関する審議および危機発生時の対応などを行います。今後は、各種部会の設置検討を進め、具体的な体制強化に向けて取り組んでいきます。

暴力団等排除に向けた取り組み

●プロ野球での取り組み

北海道警察・北海道暴力追放センターにより、不当要求防止責任者専任事業者として認定。「北海道日本ハムファイターズ、札幌ドーム暴力団排除対策協議会」に加盟し、シーズン開幕前に実務者連絡会を開催して活動計画を議論しています。また、営業担当社員が暴力団排除対策協議会講習に参加するなど、お客さまが安心してご観戦していただける環境づくりを進めています。



●Jリーグでの取り組み

Jリーグによる「暴力団等排除宣言」(2012年2月)を試合時に掲出。宣言に基づき、安全なスタジアムでスポーツをご観戦していただくための環境整備などに取り組んでいます。

コンプライアンス意識向上のため研修を実施

コンプライアンス意識の向上のため、社員を対象としたコンプライアンス集合研修を2012年度は2回実施しました。

●第1回 2012年8月7日 [参加人数63名]

第1部 「コンプライアンス相談窓口」設置・運用についての説明
第2部 「コンプライアンス問題事例の解説」
講師:弁護士 諏訪 裕滋氏(当社顧問弁護士)

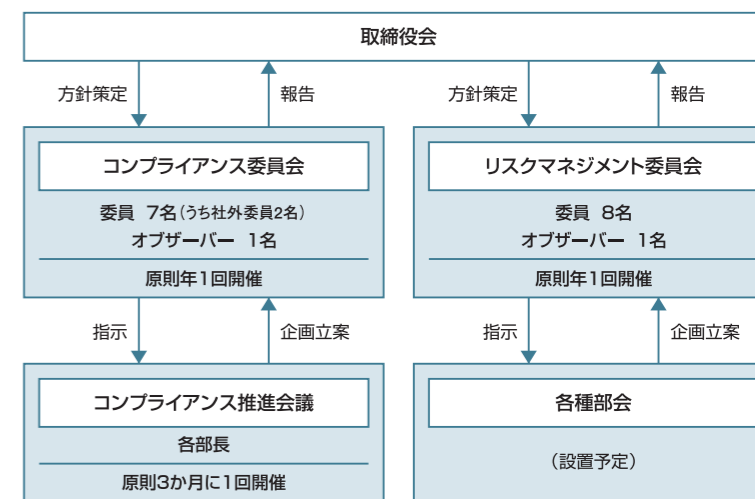
コンプライアンスとは何か、なぜ今コンプライアンスが求められるのかなど、コンプライアンス全般について具体的な事例を交えながら説明いただきました。



●第2回 2013年2月28日 [参加人数61名]

「暴力団情勢と不当要求対応」
講師:(公財)北海道暴力追放センター 事務局長 下立 実氏

コンプライアンス意識の醸成を図るとともにお客さまの安全確保につなげるため、Jリーグおよびプロ野球の開幕を前に、法令に則した不当要求への対応を学びました。



誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、当社の一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。

社員全員が誇りに思える職場を目指しています …………… P.32



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。

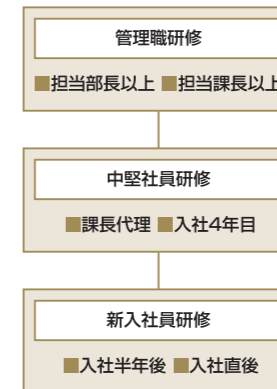
人材育成の充実

社員研修制度を整備しています

社員一人ひとりの「個の力」を最大限に高めるため、研修制度を整備。当社の財産である“人財”の育成に力を入れています。

階層別社員研修を実施

戦略的な人材育成制度として、階層別の社員研修（外部公開講座）を実施。入社年数や役職に応じて段階的に実施し、組織の中での役割を認識してスキルアップを図ることを目指しています。



資格取得奨励制度で能力向上を促進

社員の能力とモチベーションを向上させるために、資格の取得を奨励する制度を設けています。

業務のために必要な資格取得を推奨しています

所属する部門によって業務に欠かせない資格があるため、業務に必要な資格取得を推奨しています。

2012年度実績 ●建築物環境衛生管理技術者 ●ファシリティマネージャー ●衛生管理者 等

キャリアアップを目指すための資格取得を推奨しています

社員のキャリアアップに向けて、所属する部門の業務を超えて資格の取得を奨励しています。

2012年度実績 ●ビジネスコンプライアンス検定 ●メンタルヘルスマネジメント検定 ●簿記検定 等

集合研修・選択研修などでスキルを向上

それぞれの職務で求められる専門的なスキル向上を目的とした集合研修や、上司が部下を推薦することで任意に受講可能な「選択研修」のほか、「eラーニング無料講座」も活用しています。

2012年度実績	集合研修	選択研修
	<ul style="list-style-type: none"> ●労務管理研修 ●中期経営計画策定研修 ●ネットワーク基礎研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミーティングマネジメント研修 ●実践会計研修 ●ニュースリリース作成講座 ●メンタルケア・マネジメント実践セミナー 等

海外視察研修の実施

諸外国の優れたスポーツ施設やイベント施設等を視察し、その運営方法やノウハウ等を調査するとともに、新たなイベント誘致に向けて関係者との交流やネットワーク作りを推進しています。

2012年度実績	調査都市/施設
	<ul style="list-style-type: none"> ●バルセロナ「カンブノウスタジアム」 ●ニューヨーク「ヤンキースタジアム」 ●「マディソンスクエアガーデン」 ●ロサンゼルス「エンゼルスタジアム」 等

健康増進のための取り組み

トレーニングルーム利用料金を助成

札幌ドーム内のトレーニングルーム利用料金の一部を助成。勤務後などに一般のお客さまとともにトレーニングルームを利用し、健康増進や心身のリフレッシュに役立っています。



年2回の健康診断を実施

社員の健康を第一に考え、法定健診の内容に加え、年齢に応じて検査項目を追加しているほか、女性社員を対象とした婦人科検診や配偶者の健康診断も充実させています。また、イベント開催などにより勤務が深夜に至る社員に配慮し、全社員が年2回の健康診断を受診しています。

ワークライフバランスの推進

家族を含めた試合観戦の機会を設けています

社員の福利厚生の一環として、コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの年間シートをそれぞれ購入し、1シーズン中に社員1人につき4席・1試合の観戦ができる機会を設けています。観戦を楽しみながら家族に職場の様子を知ってもらうとともに、社員自身がお客さまの目線に立つことで新たな体験や気づきにつながる機会にもなっています。



幅広い福利厚生メニューの提供

社員と家族が日常生活で利用できる福利厚生サービスを提供するアウトソーシングサービス「福利厚生倶楽部」を活用。低コストの余暇支援や全国各地の施設の割引、慶弔やライフプラン支援など、幅広い福利厚生メニューを提供しています。

柔軟で効率的な勤務体制を採用

イベント開催などを考慮したシフト制による休日設定やリフレッシュ休暇などの制度を設けています。柔軟で効率的な勤務体制をとることで、仕事と生活の調和を図る環境づくりを行っています。

当社は、「札幌市ワーク・ライフ・バランス認証企業（ステップ2）」として様々な取り組みを進めています。

環境にやさしい施設であるために

札幌ドームは「環境方針」(2008年3月策定)に基づき、お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子どものために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。



- 2012年度までの環境活動実績と評価・課題…………… P.34
- 法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます…………… P.35
- 省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします…………… P.36
- 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します…………… P.37
- 緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます…………… P.39

【環境方針】

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、訪れるすべてのお客さまとともに、よりよい環境づくりに向けて取り組みます

環境方針を実現するため、開業20周年を迎える2021年に向けて重点的に取り組む指針と、2011年を基準年とした新たな数値目標を2013年3月に策定しました。

ECO MOTION 2021 ~2021年に向けた新たな環境目標

- ① マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底
法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます
 環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
 環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
 CSRレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します
- ② 低炭素社会に向けた取り組み
省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします
 お客さまの安全や快適さを保ちつつ、エネルギー消費抑制に努めます
 調査研究を進め、効果的な環境設備投資を行います
 施設の特性を最大限に活かし、積極的な運用改善を行います
 ■2021年に向けた数値目標 | エネルギー使用量を2011年度より10%削減します
- ③ 循環型社会に向けた取り組み
廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します
 お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
 事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
 グリーン購入を積極的に進めます
 ■2021年に向けた数値目標 | 廃棄ごみを2011年度より30%削減します
 リサイクル率を60%以上にします
- ④ 生物多様性の保全と環境啓発活動の推進
緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます
 生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
 子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
 社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます
 ■2021年に向けた数値目標 | 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します
 環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

札幌ドーム環境コンセプト
札幌ドーム ECO MOTION
 ~ひとりひとりがエコプレイヤー~

札幌ドーム 環境シンボルマーク



札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

さっぽろエコメンバー



北海道グリーン・ビジネス認定

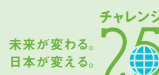


2009年度「創意あふれる取組」部門 (もったいない心分野) に認定されました

グリーン購入ネットワーク



チャレンジ25



2012年度までの環境活動実績と評価・課題

2008年3月、当社は環境に対する指針を初めて策定し、2012年度までの数値目標を定め、取り組みを進めました。

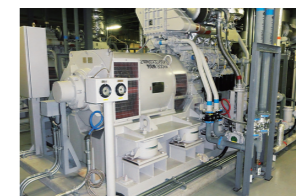
旧環境行動指針・環境目標	評価	実績	成果・課題
1 私たちは、事業活動全般が環境側面に関わる環境関連法規、規制、協定等を遵守します。	○	違反なし	委託事業者さまと連携して環境関連法令を遵守した。

私たちは、事業活動全般に関わる環境側面として、以下のことを環境管理重点テーマに取り組みます。

① CO ₂ 排出量の削減および省エネルギーに努めます	×	CO₂排出量 目標未達成 [2006年] [2012年] 8,450t → 8,707t 3.0%増加 ※参考 エネルギー使用量(原油換算) 4,109kl → 4,298kl 4.6%増加	エコパイロットなどの省エネ設備投資や照明モードのコントロールによる省エネ効果はあったものの、飲食売店の増加や照明増強工事の実施に加え、稼働率・来場者数の増加や、ピーク電力カットを目的とした自家発電の常用により、エネルギー量が増加した。
② 廃棄物の排出の削減に努めます	△	一般廃棄物排出量 目標未達成 [2006年] [2012年] 579t → 478t 17.4%削減 ※内訳 非リサイクルごみ量 456t → 257t 43.6%削減 リサイクルごみ量 123t → 221t 79.7%増加	芝ごみ分別により廃棄物を抑制。2008年(24.4%削減)および2010年(36.7%削減)の実績を受けて、目標を上方修正したものの、稼働率・来場者数の増加により、飲食・グッズなどの販売に伴う段ボールや生ゴミなどのリサイクルごみが増加した。
③ 資源循環を促進するためリサイクルに努めます	◎	リサイクル率 目標達成 [2006年] [2012年] 21.2% → 46.1% +24.9ポイント	お客さまと協同したリサイクルポストによる分別や、委託事業者さまによる再分別が効果を上げたほか、売店事業者さまによる分別が徹底された結果、上方修正した目標を上回った。
④ 環境問題の啓発啓蒙および情報発信に努めます	○	<ul style="list-style-type: none"> ● CSRレポートや子ども向けの環境パンフレットを発行 ● 札幌市青少年科学館主催「環境科学展」へのブース出展など環境啓発企画を実施 	ステークホルダーの皆さまに向けたCSRレポートを毎年発行して説明責任を果たすとともに、子どもたちの環境教育に資するため、積極的に取り組んだ。
3 私たちは、環境方針達成のため、札幌ドームで働く全従業員に周知徹底を図るとともに、すべてのお客さまに理解と協力を求めます。	○	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクルポストによる分別を推進 ● 小中学生の総合学習・職場体験学習への協力 ● 社内エコ行動の推進 ● 社員による清掃活動 	ご来場されるお客さまに、リサイクルポストによる分別の周知を図ることで、館内のごみ分別が進んだ。また、社内エコ行動を継続して推進するなどし、社員の環境教育にも努めた。

夏季の電力ピーク時における節電対応

2012年夏季の節電要請に応え、イベント開催時の補助電力として使用している自家発電設備を6~10月は常時運転し、北海道電力からの電力購入を約17%抑制。電力不足が見込まれる事態に備えて検討を行い、7月23日~9月14日にはさまざまな取り組みを実施しました。



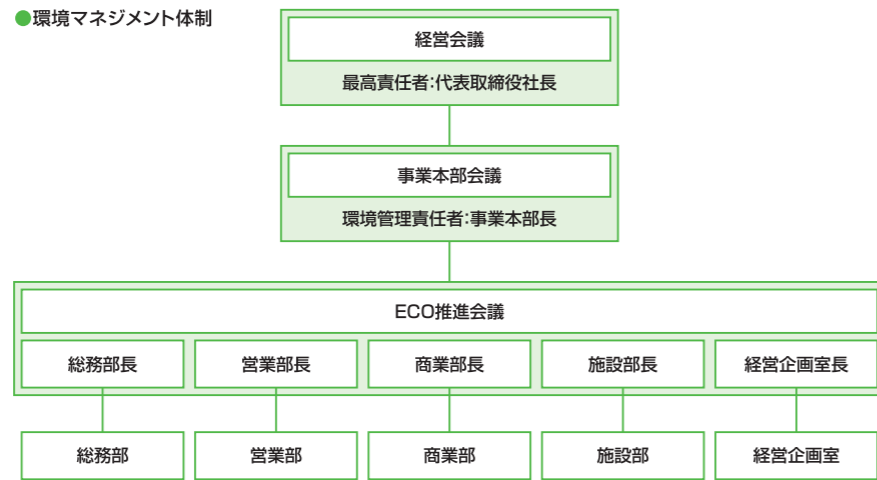
- その他の取り組み
- 主催者さまの協力によるアリーナ照明の減灯および点灯時間の抑制
 - 館内コンコース等の照明減灯
 - 空調機の一部停止
 - 館内トイレの洋式便座ヒーター停止
 - 展望台エスカレーター装飾照明の消灯
 - 敷地内およびアートグローブの照明減灯

①マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底 **法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます**

札幌ドームは「環境方針」の実現に向けて、関連法令の遵守を徹底し、環境経営の推進に取り組んでいます。また、環境への取り組みをさまざまなかたちで公開しています。

環境マネジメント体制の推進

環境への取り組みをさらに推進していくために、2012年度から「ECO推進会議」を立ち上げるなど、環境経営の実現を進めていく体制を強化しています。各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を検討し、プラスチックごみの分別実験などの新たな取り組みについても協議を行い、さらなる省エネルギーや廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上などに向けて検討を進めています。

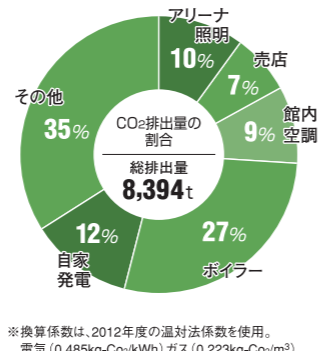


札幌ドームの環境負荷

人と自然にやさしい施設であるために、事業活動による環境負荷を正しく把握することに努め、よりよい環境づくりに向けた活動へとつなげています。

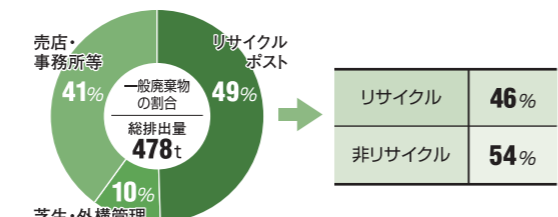
●札幌ドームの主な環境負荷(2012年度)

INPUT		OUTPUT	
電気	購入電力	10,232	千kWh
	自家発電	1,569	千kWh ※ガスによる発電及び太陽光発電
ガス		1,438	千m ³
ガンリン・灯油			
		アリーナ照明(電気)	869
		売店(電気・ガス)	609
		館内空調(電気)	749
		ボイラー(ガス)	2,278
		自家発電(ガス)	991
		その他(電気) 給湯・大型可動物/大型映像装置 給排水ポンプ・昇降機 芝管理機材・投光機など	2,898
		合計	8,394
		CO ₂ 排出量	8,394



自家発電の電力をイベント時に使用
電力使用のピークカット(最大需要の抑制)を目的とした天然ガスエンジンの常用発電機が設置されており、開業以来、イベント時に使用する電力の一部(約15%)を補っています。

水		下水	
上水	31	下水	95
井水	84		
		一般廃棄物	排出量
		リサイクルポスト(分別ごみ箱)	232
		売店・事務所等	197
		芝生・外構管理	49
		合計	478
		リサイクル	46%
		非リサイクル	54%



※イベント設置等に係る廃棄物は、原則お持ち帰りをいたしておりますが、一部イベントスタッフの弁当等のごみは「リサイクルポスト」に含めています。
※リサイクルポストに廃棄いただいた紙カップのフタとストローの一部は「売店・事務所等」に含めています。

環境への取り組みを公開

札幌ドームの環境への取り組みについては、ウェブサイトやCSRレポートなどを通じて広く公開しています。札幌市内の事業者の環境報告書を展示・紹介する「環境報告書展」にも毎年、出展しています。



②低炭素社会に向けた取り組み **省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします**

お客さまの安全性や快適性を保ちながら省エネルギーを推進し、CO₂排出量削減を図るため、環境にやさしい設備の活用や運用方法の改善などに積極的に取り組んでいます。

[新数値目標] ■エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

省エネ型の設備を積極的に活用しています

CO₂排出量を削減するために、2007年より省エネルギー型の空調用送水ポンプ制御システム「エコパイロット」などを導入。省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進めることで、省エネルギーを推進しています。

排出削減量(国内クレジット)の認証

エコパイロットの運転に伴うCO₂排出削減量は、2010年8月に国内クレジット制度(国内排出削減量認証制度)に札幌市の事業として認証されており、2012年度は168t(審査中)貢献しました。



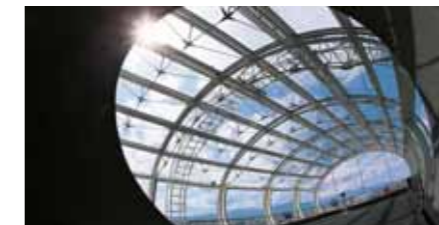
札幌市環境局省エネ支援事業による設備運用の改善を進めています

札幌市環境局による市有施設に対する省エネ支援事業の対象施設として、自然換気による空調負荷の軽減や、機器の清掃による省エネ効果の測定など、設備の運用改善に向けた実験を行いました。



展望台のガラス面を遮熱コーティング

一面ガラス張りの展望台での暑さ対策として、ガラス面に遮熱コーティングを塗布。空調に使用するエネルギー消費を抑えられるようにしました。



ごみを圧縮して減容化

回収した紙カップ、紙トレイ・弁当外箱、ペットボトルなどは圧縮。減容化によってごみの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減しました。



札幌ドームの廃食用油を活用した燃料によるカーボンオフセット

札幌ドームから排出される廃食用油で製造したバイオディーゼル燃料を廃棄物収集運搬の車両に使用することで、カーボンオフセットによるCO₂排出削減を行っています。



省エネを考慮して照明モードを緻密に制御

イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用形態に応じて照明モードを制御し、省エネを推進。プロ野球終了後のグラウンド整備時の照明モードを2009年より見直し、プロ野球開催時の電力消費量を約5%削減しています。

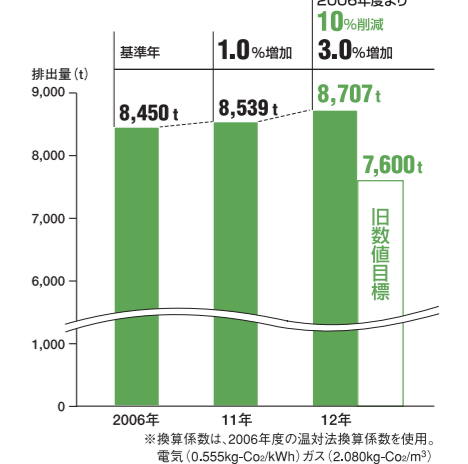


札幌市の太陽光発電事業に協力しています

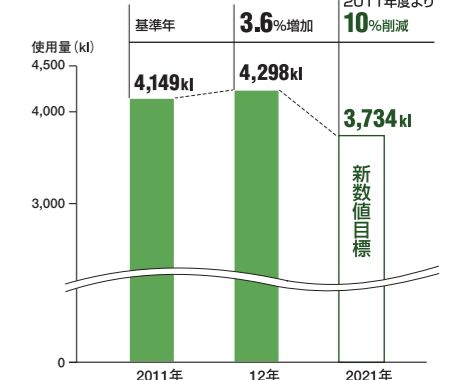
札幌市は、CO₂排出量の削減のために太陽光発電の導入を進める「札幌・サンサンプロジェクト」を実施しています。札幌ドームの敷地内にも全長326mにわたり太陽光パネル432枚が設置され、2011年3月より本格稼働。2012年度の太陽光発電量は61,860kWhとなりました。



●CO₂排出量の推移



●エネルギー使用量(原油換算)の推移



広報誌の印刷にグリーン電力を利用

札幌ドームが発行する広報誌「イベントニュース」などの印刷に、環境負荷が少ない風力発電によるグリーン電力を利用し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



環境に配慮した設計を活用した運営を心がけています[スタンド席の局所空調]

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要になるため、スタンド席の足元から冷・温風が吹き出す座席周辺に絞った局所空調を実施。さらに、スタンド全体の空調ゾーンによる観客数に応じた冷暖房で、省エネルギーを図っています。



③循環型社会に向けた取り組み 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

お客さまにも理解と協力をいただきながら、イベントの主催者・委託事業者さまとともに廃棄物の削減やごみ分別などに取り組み、リサイクルの推進を図っています。

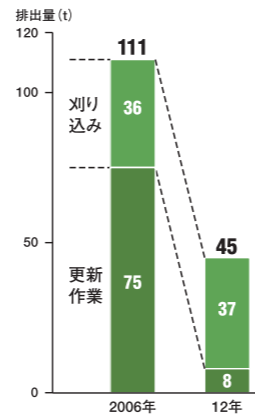
[新数値目標] ■ 廃棄ごみを2011年度より30%削減します ■ リサイクル率を60%以上にします

芝生の更新作業で発生する芝ごみの分別によって廃棄物を大幅に削減

天然芝サッカーグラウンド(2面)の芝の更新作業として、地面が固くなると空気の通り道がなくなって根が呼吸しづらくなるため、芝生に穴を開けるコアリングを行います。この作業で大量に発生する芝・根と砂が混じった芝ごみは、2007年秋からスタッフが分別。芝・根だけを焼却ごみとし、砂はサッカーグラウンドのメンテナンスに再利用することで、廃棄物の量を大幅に削減しています。



●芝ごみ廃棄物の推移



●コアリング 良質な芝の育成には欠かせない作業で、札幌ドームでは年2回程度実施

2006年度までは、埋め立てごみとして廃棄していましたが、芝・根と砂を分別することで、一般ごみとして廃棄することが可能となりました。

すべてのお弁当容器にリサイクルシールを貼付

ごみの分別回収の周知を進めるため、販売しているすべてのお弁当容器にリサイクルシールを貼っています。シールを通して、リサイクルポスト利用への協力を呼びかけています。



売店や事務所などから排出される事業系ごみも分別回収を実施

当社社員が事務所内などでごみの細かな分別回収に取り組んでいるほかに、イベント主催者さま、委託事業者さまにご協力いただき、売店などから出る事業系ごみの分別回収を進めています。



●分別ステッカー

再利用が可能なエコカップを販売

オリジナルデザインのエコカップでビール、ソフトドリンクを限定販売。使用後のカップはお持ち帰りいただくことができ、再利用が可能です。



外構作業による廃棄物のリサイクルを推進しています

枝打ちなどの作業で発生した剪定枝や、十分に生長した木から外した添え木などは、まとめてリサイクル施設に運搬。植栽チップなどに生まれ変わり再利用されています。



ウェブサイトの活用で印刷物を削減

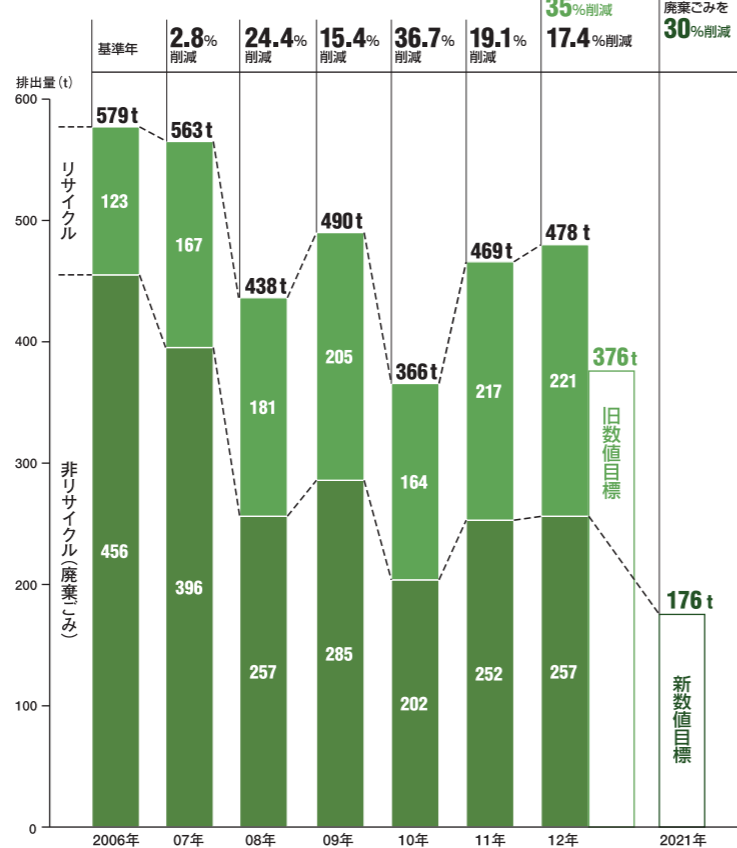
ウェブサイトを積極的・効果的に活用することによって、広報紙などの印刷物の見直しを行い、紙の消費量の削減を図っています。

売店のレジ袋削減を進めています

2007年2月より原則としてレジ袋をお渡しせず、必要なお客さまにのみお渡しすることでレジ袋削減を進めています。



●一般廃棄物の排出量の推移



旧数値目標
2006年度より一般廃棄物を 35%削減

新数値目標
2011年度より廃棄ごみを 30%削減

お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組んでいます

札幌ドームは、お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組み、分別回収を行ってリサイクルを推進。多くのお客さまにリサイクルポストを利用した分別回収にご協力いただき、紙カップはトイレトイレットペーパーの原料としてリサイクルし館内のトイレで使用するなど、取り組みが定着してきています。



●札幌ドーム「リサイクルポスト」
上記の4種類にごみを分別回収するため各所に設置。イベント時は分別を案内するスタッフを配置するほか、主催者さまのご協力により大型ビジョンを使ってお客さまに分別を呼びかけています。



●リサイクルの流れ

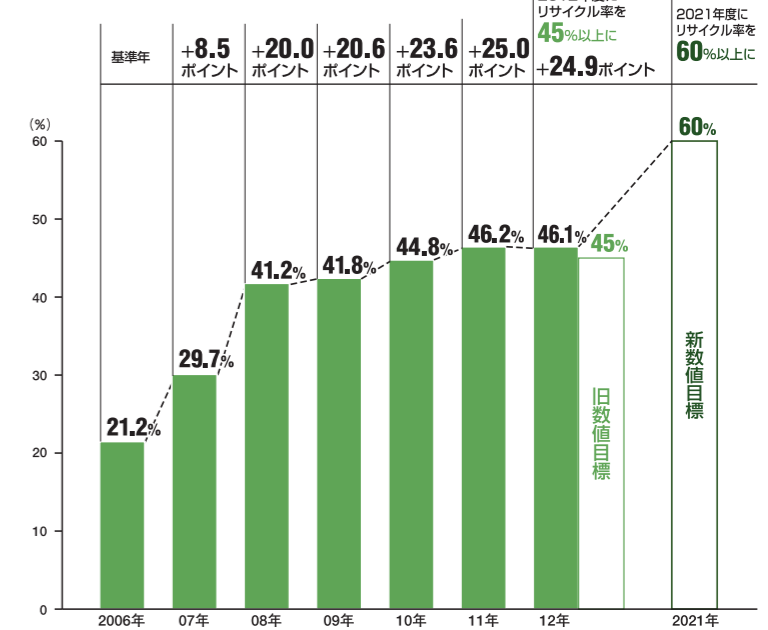


●リサイクル項目

2006年	分別品目		リサイクル品目
	2006年	2012年	
古紙	新聞・OA紙・チラシ・雑誌	再生紙	
	ダンボール	ダンボール紙	
	紙トレイ・弁当外箱等		
飲料用容器	紙カップ	トイレトイレットペーパー	
	シュレッダーくず	再生紙	
	雑がみ		
	ビン	再利用・カレット等	
その他	缶	鋼材	
	ペットボトル	繊維・ペットボトル	
	一斗缶	鋼材	
その他	2009年から分別開始	酒類ビン	カレット等
	2008年から分別開始	資源化ごみ	固形化燃料
	2009年から分別開始	生ごみ	堆肥・飼料
		剪定枝	植栽チップ

*ガラスビンの原料

●リサイクル率の推移



④生物多様性の保全と環境啓発活動の推進 **緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます**

周囲の環境や生態系に配慮しながら敷地の維持管理を行うとともに、札幌ドームの環境への取り組みについて子どもたちをはじめ多くの方々に知っていただく活動を幅広く展開しています。

[新数値目標] ■ 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します ■ 環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

エコロジカルプランニングに基づいた緑豊かな「スポーツの庭」を実現

白旗山から連続する豊かな自然を背景とした農耕地と、商業・住宅地が群を成す都市の境界に位置する広大な敷地が、ガーデニング(庭造り)の手法で農耕地から都市を緩やかにつなぐ「スポーツの庭」に生まれ変わり、札幌ドームが誕生。以来、生態系に配慮した敷地の維持管理に取り組んでいます。

●建設前



●2010年



札幌ドーム建設に先立ち、食物連鎖の上位に位置する「鳥」の視点から、建設予定地を含む周辺地域の生態系を分析。鳥が暮らしやすい環境づくりを基調として、森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入しました。建設前よりも豊かな生態系を築くことを目指したこのエコロジカルプランニングにより、緑と生き物を育む下地が整えられました。



「スポーツの庭」を守るために適切な維持管理を行っています

緑や生き物たちを守り、「スポーツの庭」を維持しながら、景観の美しさとお客さまの安全性を確保するために、散策路などの草地の刈り込み、植栽の剪定や冬囲いなどを適切な時期に実施しています。



バードセーバーを設置しました

ガラス面に鳥が衝突するバードストライクを防ぐため、西棟ガラス面にバードセーバー(105m)を設置しました。



巣箱づくり教室を開催し、敷地内に設置

子どもたちが巣箱の組み立てを体験できる教室を開催。完成した巣箱は敷地内に設置し、鳥が暮らしやすい環境づくりに役立てています。



「社内エコ行動」に取り組んでいます

離席時のパソコンディスプレイ電源オフをはじめとする節電の徹底など、社員一人ひとりが意識を高めるため、エコ行動を列記したチェックシートを活用し、定期的に達成度合いを確認することで「社内エコ行動」を推進しています。敷地内および周辺道路の清掃活動にも全社員で取り組みました。



- エコバッグ利用
- グリーン購入の推進
- クールビズ・ウォームビズの推進
- 節電の徹底
- ごみ分別の徹底
- 公共交通機関利用の推進
- マイカップ・マイ箸利用の推進
- コピー用紙・印刷用紙の削減
- リサイクル事務用品の積極利用

ノー残業デーを実施

2010年12月より、毎月1回「ノー残業デー」を実施。全社員が定時で退社することで、事務所内の省エネルギーを図っています。

「Kids' ISO 14000プログラム」に協賛しました

2010年より、北海道と国際芸術技術協力機構が共同で実施している「Kids' ISO 14000プログラム」に協賛し、全国各地の小中学生の環境意識向上に協力しています。



※「Kids'ISO 14000プログラム」は、国際芸術技術協力機構(ArTech)が開発し、国連機関、国際機関と一緒に、国内、国際的に展開している環境教育プログラムです。

札幌市青少年科学館「環境科学展」に出展

札幌市青少年科学館で開催された「環境科学展」に札幌ドームのブースを出展。子ども向けの環境啓発パネルなどを展示したほか、参加型の企画として「札幌ドーム生き物図鑑づくり」を実施しました。



●札幌ドーム生き物図鑑
子どもたちが敷地内に生息する動物や植物について調べたり、絵を描いて、図鑑を完成させました。生き物図鑑は札幌ドーム総合案内に展示しました。

環境に関する情報を広く発信

自主イベントの開催時など、さまざまな機会を活用して環境啓発活動を積極的に展開。ドームツアーの中でもリサイクルの取り組みなどをお客さまに紹介し、札幌ドームの環境への取り組みについて発信しています。



●環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業(半地下構造・自然採光・自然換気・コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 3 ファンス・カフェサインをLED化
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 タウン店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力を採用(以降、2009年度まで実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事(「エコキュート」導入)
- 3 リサイクルポストをリニューアルし、紙トレイ・弁当外箱も含め、より分別しやすいデザインに変更
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドームウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 ドームツアー・展望台スタッフユニフォームを「マテリアルリサイクルマーク」認定素材に切り替え
- 9 第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社内エコ行動」の推進開始
- 8 酒類ビンの分別回収を開始
- 11 剪定枝の分別回収を開始
- 11 北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
- 2010. 3 コンコース及び南北連絡通路(ストリート)の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑がみ分別の開始
- 4 Kids' ISO 14000プログラムに協賛(以降、毎年継続)
- 8 エコポイントを活用し、環境寄付を実施
- 11 ヘリメーターヒーターインバーター化工事
- 12 ノー残業デー(毎月1回)の開始
- 12 環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいにしよう」開催
- 2011. 3 札幌ドーム太陽光発電設備設置
- 3 屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
- 3 「エコ弁当」を企画
- 3 2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
- 10 第6回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース出展
- 2012. 2 トイレ照明人感センサー化工事
- 3 トイレ手洗い・トイレトレーニングルームシャワーに節水金物を設置
- 7 第4回さっぽろ環境賞(循環型社会形成部門)において「優秀賞」を受賞
- 9 環境啓発企画「札幌ドーム巣箱づくり体験教室」を開催
- 10 第7回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース出展
- 11 札幌ドーム西棟ガラス面にバードセーバーを設置
- 11 札幌ドーム展望台ガラスの遮熱コーティング工事
- 12 平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞において「大賞」を受賞
- 2013. 3 新環境目標「ECO MOTION 2021」を策定

第4回さっぽろ環境賞「優秀賞」を受賞

札幌市が主催する第4回さっぽろ環境賞の循環型社会形成部門で「優秀賞」を受賞しました。大規模イベント開催時のごみの分別回収など、お客さまと協同したリサイクルの取り組みについて評価をいただきました。



平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞「大賞」を受賞

特に優秀な廃棄物の発生・排出抑制の取り組みを行っている事業所を表彰する北海道主催の平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞で「大賞」を受賞しました。芝ごみの排出削減やお客さまと協同した資源循環の取り組みが評価されました。



